



ザグレブ
クロアチア

クロアチアの首都

ザグレブ

へようこそ。

パンフレットを見れば、以下の ことを知ることができます。

- 3 はじめに
あなたが初めての場所にいることを知るとき。
- 6 街について
名所と数字
- 8 街の中の景観
ザグレブの歴史的名所
- 14 ザグレブ
トップテン
- 18 緑あふれるザグレブ
ザグレブでは、自然と良いことが起こります。
- 28 隠されたザグレブ
一度では見尽くせない街
- 36 文化と芸術
人生をより素晴らしくするもの
- 44 ザグレブにおける催し物
毎日すべての人に何かを
- 56 食事と飲み物
いつも瞬間に過ぎていく時のために
- 62 ショッピングと娯楽
あなた自身が身につける小さなザグレブの一部
- 68 子供のためのザグレブ
大きな可能性を秘める街
- 72 ザグレブ
24時間以内
- 76 ザグレブ
72時間以内
- 82 ザグレブの周辺地域
ザグレブ近郊での美しい思い出
- 91 宿泊施設
寝心地の良いベッド以上のものを
- 92 役に立つ情報

役に立つ情報

ツーリスト・インフォメーションセンターの電話番号や住所などの多くの役に立つ情報については、92ページをご参照ください

WWW.INFOZAGREB.HR

高速道路での移動距離

ザグレブ～ウィーン / 375 km
ザグレブ～ブダペスト / 345 km
ザグレブ～ヴェネチア / 380 km
ザグレブ～ベオグラード / 395 km
ザグレブ～リュブリャナ / 140 km
ザグレブ～スプリット / 410 km



ザグレブ市の位置

ザグレブ市は、中央クロアチアに位置しています。ザグレブ市は、メドヴェドニツァ山の南斜面、そしてサヴァ川の河岸にまで広がっています。

はじめに あなたが初めての 場所にいることを 知るとき

ザグレブについてもっと知りましょう。



ザグレブのイメージは、たった一つしか存在しないのでしょうか？そのイメージは、私たちがちょうどザグレブに関する話を直接耳にしたときに作られたものでしょうか、あるいはインターネットで目にした写真をもとに思い描かれたものでしょうか。それとも、私たちがこのパンフレットのページに目を通した時に形成されたイメージでしょうか？

誰もが、ザグレブでは自分にしかない体験をします。ザグレブは活気に満ちた大都市であるという印象を持つ人もいれば、ザグレブは人工的な街であると思う人もいます。ザグレブには、そこにある自然を愛する人たちがたくさんいる一方で、大都市が持つ多くの可能性に魅力を感じる人たちもいます。このように、ザグレブは人々にさまざまなイメージを抱かせます。

ザグレブは一見すると、諸機関が置かれている荘厳な雰囲気的首都です。しかし、まさに次の瞬間には、ザグレブは人々が落ち着いて過ごせる場所へと姿を変えます。そこでは、あなたは上品な街の美しさに魅了されるでしょう。ある通りでは、あなたは常に休むことのない大都市の気忙しいリズムに驚くでしょう。しかし、ちょうどその角を曲がれば、あなたは絵のように美しい路地に魅了されるでしょう。そこで聞こえてくる最も大きな音は鳥の鳴く声で、そこでの体験は実際に田舎にいるような錯覚を抱かせます。

ザグレブでは、街の中の地形も変化に富んでいます。より古く、より歴史のある区域では、ザグレブは起伏に富み、曲がりくねった道が多く、そして周囲の環境と完全に一体化しています。他方で、街のより歴史が浅い地区は整備され、道も広々しており、そこには完全にサヴァ川の低地と沿う形で作られた並木が広範囲にわたって立っています。

ザグレブでは、その地理的特質もさまざまです。確かに、ザグレブは大陸と密接に結びついています。しかし、ザグレブの空気を吸えば、地中海の気配が感じられます。それは、ザグレブが地中海と地理的に近い位置にあるからだけではありません。そこでの生活スタイルも、そのような気配を感じさせる要因です。通り、広場、おしゃべり、人との交流、食べ物および街での生活への愛着は、ザグレブ市民たちが持つ重要な気質です。ザグレブでは、地中海との結びつきがとて強いいため、冬の数か月の間でも、カフェやレストランのテラス席は人々が集う人気の場所となっています。一方、通りや広場は人や物であふれかえっています。自然によって生み出されたそれらの異なる気質が一体化した街の雰囲気、クロアチアの詩人であるスラヴコ・ミハリッチも詩の中で次のように表現しています。「ズリニェヴァツを通り過ぎると、私は海へとやってくる」。

それがザグレブです。ザグレブはクロアチアの大陸的な特徴と地中海的な特質を完全に兼ね備えた街です。ザグレブは大都市ですが、誰もが道に迷わず歩いて回ることのできる街でもあります。ザグレブには、平穏で落ち着いた通りもあれば、逆に騒がしい通りも存在します。通りにおけるこうした対照的な様相を通じて、誰もが自分にしかない発見をすることができる街というザグレブの特徴が育まれたのは疑いのない事実です。そしてだからこそ、ザグレブは人々にさまざまなイメージを抱かせるし、また世界に一つしかない特別な場所なのです。

街の名前

ある一つの伝説によれば、今日ザグレブが位置している場所では、水不足が深刻でした。ある日、パンが人々と馬に水を飲ませるために乾いた地面に剣を突き刺すと、すぐに地面からきれいな水が湧き出してきました。パンは兵士たちに「水を汲みなさい!」と大声で叫び、そして近くに立っていた少女に向かって大声で次のように言いました。「愛しきマンガよ、水を汲みなさい!」。この出来事を通じて、街はザグレブと名づけられ、また現在も街の中央広場で見ることができる泉はマンドウシェヴァツの泉と命名されました。



ヨシブ・イエラッチ

この19世紀の英雄は農奴制を廃止し、さらには初めてクロアチア議会の代表者を選ぶ選挙の実施を呼びかけたという理由から、重要な意味を持つ人物です。彼の像は、ザグレブの中央広場に設置されています



イリツァの超高層ビルー有名な展望台

ちょうどザグレブで一番長い通りであるイリツァ通りが完成した当初から、イエラチ広場の上には荘厳な建物がそびえ立っています。この建物は、イリツァの超高層ビル、あるいはただ「広場の超高層ビル」と呼ばれ、クロアチアで初めてのオフィスビルとして知られています。イリツァの超高層ビルは1959年に完成し、その設計を手掛けたのは、ヨシブ・ヒテル、スロボダン・ヨヴィチッチ、イヴァン・ジュリエヴィッチという3人の建築家でした。さらに言えば、この超高層ビルは、ヨーロッパのこの地域では初となる全面ガラス張りの正面を持つ建物でした。今日、そこには、個人用およびビジネス用のスペースが設けられ、また最上階である16回は荘厳な眺めを堪能できる展望台として、一般に公開されています。そこからは、文字通りザグレブの全景が見渡せます。

中央広場の過去と現在

ザグレブの中央広場には、過去から現在までの数世代にわたる市民たちの記憶が幾重にも刻まれています。それは、この場所が18世紀にハルミツァ(通行料徴収所のこと。ここでは、旅人たちから通行税が徴収されていました)として建設されてから、パンであるイエラチの像(作者は、アントウン・ドミニク・フェルンコラン)と様々な目的に使うことができる広々としたスペースによって広場が復活した今日までのあらゆる記憶です。1947年から1990年までは、この中央広場は共和国広場と呼ばれ、またイエラチの像は広場から撤去されていました。興味深いのは、イエラチの像が広場に戻された時に、像が昔と同じようにクロアチアがかつて従属していたハンガリーの方角を意味する北側に設置されるのではなく、街が成長する方向に向かって以前とは逆の南側に置かれたことです。多くの住人たちが日常生活の中では広場のことを「イエラチッチ・プラツ」と呼ぶことを覚えておくと、役に立つでしょう。

街について 名所と数字

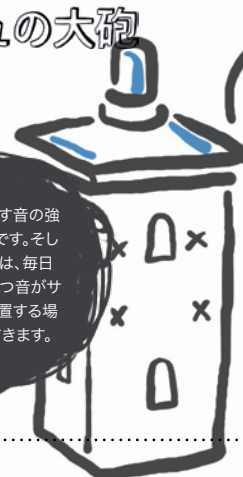
東経16度線



地理的に見れば、東経16度線がザグレブを通過しています。そして、それを表す標識は、ユニヴァーシアード大会が開催されるのに合わせて、1987年にヴコヴァル通りとドルジッチ通りが交差する場所に設置されました。

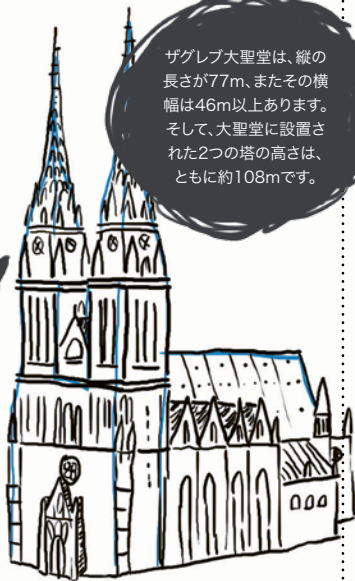
グリチュの大砲

グリチュの大砲が出す音の強さは、130デシベルです。そして、天気の良い日には、毎日正午にこの大砲を撃つ音がサヴァ川よりも南に位置する場所にも聞こえてきます。



BOOM!

最も高い建物



ザグレブ大聖堂は、縦の長さが77m、またその横幅は46m以上あります。そして、大聖堂に設置された2つの塔の高さは、ともに約108mです。

ホテル・エスプラナーデ

ホテル・エスプラナーデは、パリとイスタンブールを結ぶ伝説的な列車であるオリエント急行で旅をする旅行者に宿を提供するという目的から1925年に建造されました。



ザグレブの博物館



ザグレブにある博物館は、合わせて約360万点の展示品を所蔵しています。

クロアチア共和国の全人口に占めるザグレブ在住者の割合

2011年付の最新の人口調査記録によれば、ザグレブにはおよそ79万人の人々が居住しており、その数はクロアチアの総人口の約18.5%です。

18.5%

ガスランプ

ガスランプは、早くも1863年に街の中心部に設置されました。そして、今日それらのうちの200個以上が現役で稼働しています。ガスランプは、現在朝に点灯され、午後になると消灯されます。ザグレブは、こうしたロマンチックな伝統を守ってきたヨーロッパにある3つの都市の一つです。



カフェとレストラン



ザグレブには、合わせて約4500店ものカフェとレストランがあります。つまり、ザグレブには、およそ175人の住人につき1店舗の割合でカフェやレストランが存在することになります。

ザグレブのウスピニャチャ

ザグレブのウスピニャチャは、公的な交通機関の中では最も短い路線を走るケーブルカー鉄道です。ウスピニャチャの路線の長さはわずか66メートルで、また下から頂上までの全乗車時間は64秒です。



時計の下で会いましょう!

ザグレブ市民の間で最も人気のある待ち合わせ場所は、街の中央広場にある「時計の下」です。街が所有するすべての時計を修理し、整備するのはマクシミルにあるレバロウィッチ時計修理店で、この店は現在までに6世代にわたってマイスターの称号を手に入れています。街が所有する最初の時計はオーストリアから持ち込まれました。そして、その後ザグレブの職人自身がその時計について学び、同じ様式の時計が作られました。そのため、ザグレブの街の時計は、現在でもウィーンのものと同じように見えています。

街の中の景観

ザグレブの歴史的 名所

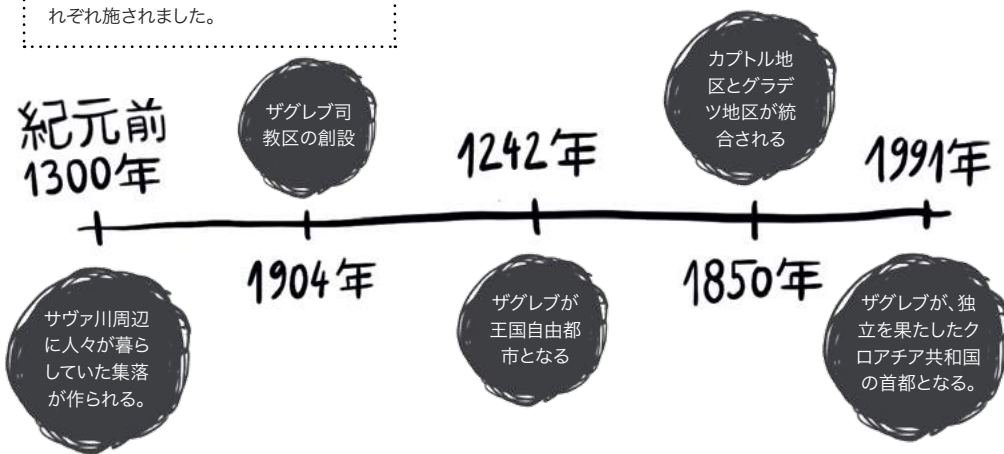


聖マルコ教会の再建が行われていた
1876年から1882年の時期に、おそらく
は建築家であるフリードリヒ・フォン・シ
ュミットの主導のもとで、教会はカラータ
イルで覆われました。そして、これらのタ
イルによって2つの紋章、すなわち屋根の
左側にはクロアチア・スラヴォニア・ダル
マチア三位一体王国の紋章、また屋根の
右側にはザグレブ市の紋章の装飾がそ
れぞれ施されました。

ザグレブについて
もっと知りましょう。



先史時代以来、現在のザグレブ地域には人類が絶え間なく
居住していたことを示す証拠があるのは疑いのない事実で
す。しかし、文書史料の中で初めてザグレブについての言及が
なされたのは、ちょうど司教区が創設され、さらには大聖堂の
建設が開始された1094年のことです。最初、街の中核にな
っていたのは、隣接する丘に位置する二つの居留地、つまりグ
ラデツ（現在のアップータウン）とカプトルでした。これら二つ
の街区の境界線となっていたのは、現在のトカルチツ広場
にあたる場所です。そこには、かつては小川が流れていました。



グラデツとカプトル

グラデツは、1242年にハンガリー王国とクロアチア王国の国王であったベーラ4世が捺印証書を付与したことによって、王国自由都市の地位を与えられました。また、グラデツに住む市民たちは、他の王国自由都市の市民たちと同様に、毎年自分たちの市長を選出し、自治を行うための独自の条例を制定する権利を得ました。その代わりに、市民たちは防壁や見張り用の塔を建設し、自分たちの街の防衛を強化する義務を負いました。それらの防壁や塔は13世紀半ばに作られました。また、その時以来今日のアッパータウンにあたる区域は、街区としての独自の体裁を整えました。かつては街への入り口がいくつもありましたが、今日まで残っているのは石の門だけです。すでに13世紀には、アッパータウンの中央広場には聖マルコ教会がありました。当時の聖マルコ教会は、その後数世紀にわたって増築や改築が行われたため、現在のもものと比べると少し小さかったです。オスマン帝国の征服者たちによる脅威が最も強かった15世紀後半と16世紀の初頭には、ザグレブはオスマン帝国との国境線を守るための重要な防衛拠点となり、カプトルの周辺には防壁と塔が増築されました。それらの防壁と塔の大部分は現在も残っています。バロック時代には、多くの木造家屋が取り壊され、壮麗な大邸宅やカトリック修道院、教会が建設されました。街は、商業、見本市、ならびに手工業の中心地として発展し、またハプスブルク帝国のあらゆる地域の住人たちが街へと移住してきました。人口は増加し、学校や病院が増設され、ザグレブはクロアチアにおける経済と文化の中心としての地位を不動のものとなりました。より力強い発展の第一歩となったのが、1850年に実現されたグラデツとカプトルの行政上の統合でした。インフラの整備も急速に進み、ザグレブを通る初の鉄道路線は1862年に開通し、1878年にザグレブでは水道施設も完備されました。

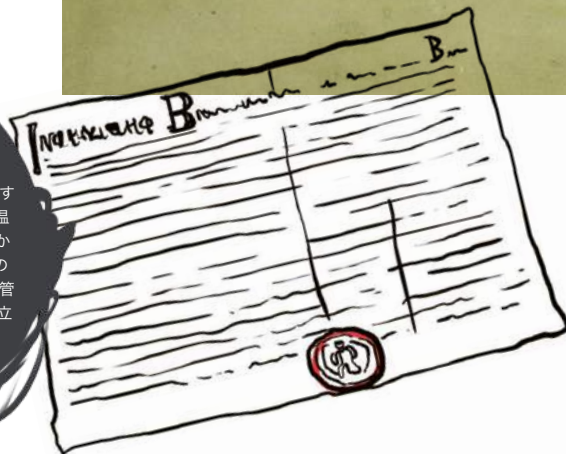


Circonférence della città di Zagabria (anno 1597) con li franchi.

Circonférence della fortessa della
Giama anno 1667.

ベーラ4世の金印勅書

グラデツが王国自由都市の地位を獲得することを承認した捺印証書は現在、室温摂氏18度から21度、そして湿度45%から55%という非常に厳格な管理条件の下、特別に作られたプラスチック製の保管容器に入れられた状態でクロアチア国立図書館の地下室に保存されています。



街は1880年に深刻な災害に見舞われました。大規模な地震が街を直撃し、この地震によって多くの歴史的建造物が破壊されました(大聖堂もまた深刻な被害を受けました。)。しかし同時に、地震をきっかけに街の近代化が今まで以上に強力に推し進められました。そのとき以来、公的機関の建物が新たに数多く建設され、また街をより高水準な都市として整備するべきだとの声が高まりました。街の人口は増加し(19世紀を通じて、今までの10倍以上に膨れ上がりました。)、1917年から1925年までの間には、より多くの大学や高等学校が開校しました。そして、ちょうど1926年に、ヨーロッパのこの地域では初となるラジオ局がザグレブで放送を開始しました。第二次世界大戦の後には、強力な工業化によって人口がさらに増大し、一方で、そうした工業化に対応して街の領域を拡大する必要が生じ、その対象となる新たな地域の調査が行われるようになりました。つまり、街の領域がサヴァ川の右岸にまで拡張され始めたのです。1991年にはクロアチア共和国が独立宣言し、ザグレブはそれ以降クロアチアの首都および同国最大の都市となりました。

大都市がその歴史的な中心地の形をほぼ完全に維持したまま近代化の過程を経ることは、珍しいことです。ザグレブは丘の上に位置し、またかつて危機にさらされた際には、塁壁と見張りの塔によって完全に守られていました。歴史あるグラデツ(かつては、グリチュとも呼ばれていました。)は、ほぼ完全にかつての街の原型をとどめています。より新しく近代的なザグレブはグラデツの足元で発展してきました。アッパータウンには、ザグレブに住む一般市民、俗人たちの歴史的拠点が置かれていました。この拠点は、13世紀を通じて発展し、そしてその後は、少なくとも基本的な外観や通りの配置に限って言えば、後の時代に若干変わっています。累壁の上に設置された見張り用の塔の中で、現存しているのがロトゥルシュチャクの塔です。このロトゥルシュチャクの塔は、かつては街の南側にある入口を防衛していました。また、聖職者の塔も現存しています。この聖職者の塔は要塞化された巨大な塔で、街が敵からの攻撃を受けた際に、聖堂参事会員たちが避難する場所でした。1903年からは、街の天文台が聖職者の塔の中に設置されました。



アッパータウンの中心地は、聖マルコ広場です(日常会話の中では、単にマルコ広場と呼ばれています)。この聖マルコ広場には、かつてはクロアチアのパンが住んでいたパンの邸宅があります。また、この広場には、クロアチア共和国政府の政庁も置かれています。広場の反対側には、クロアチア議会の議事堂があります。その周辺にある通りには、アッパータウンの公会堂、東方正教会の大聖堂、ナイヴ・アート美術館、そして失恋博物館があります。その近くには、イエズス会関連の施設が集中した一角があり、そこには美しい聖カタリーナ教会が立っています。



街の祝日

1731年5月30日に、街では大火災が発生しました。火は、街のもっとも重要な入り口の一つである石の門にまで燃え広がりました。その翌日、火は消し止められ、廃墟の中から完全に焼失を免れた聖母マリアの肖像画が発見されました。そして、その肖像画が発見された5月31日は街の祝日として祝われ、さらに石の門の聖母マリアは街の保護者とされています。

ザグレブ トッブテン



1

マルコ広場

上品で美しい支配者の邸宅や、国会議事堂や憲法裁判所の建物を見るのもよいですが、それらはひとまず置いておき、それらの建物よりも美しい聖マルコ教会を見ましょう。この聖マルコ教会がある一帯は、すでに13世紀半ば以来の歴史があります。詳しくは、9ページをご覧ください。



2

レヌチの蹄鉄

19世紀に建設された広場と公園が集中する壮麗な区域には、学術、文化および芸術機関が置かれ、そしてその区域はザグレブにおける都市計画の最高傑作です。詳しくは、22ページをご覧ください。



3

ドラツ

ドラツは最大にして最も美しい街の市場です。この市場では、ザグレブ周辺でとれた野菜や果物、そしてクロアチア全土から集められた新鮮な食材が豊富に取りそろえられています。詳しくは、57ページをご覧ください。



4

ミロゴイ墓地

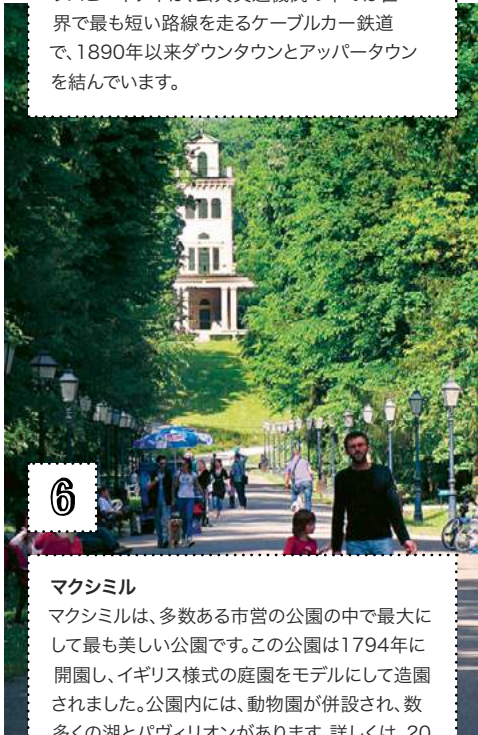
ミロゴイは、非常に美しい市営墓地です。そして、この墓地は、彫像とくつろげる場所がある美しい公園でもあります。詳しくは、21ページをご覧ください。



5

ウスピニャチャ

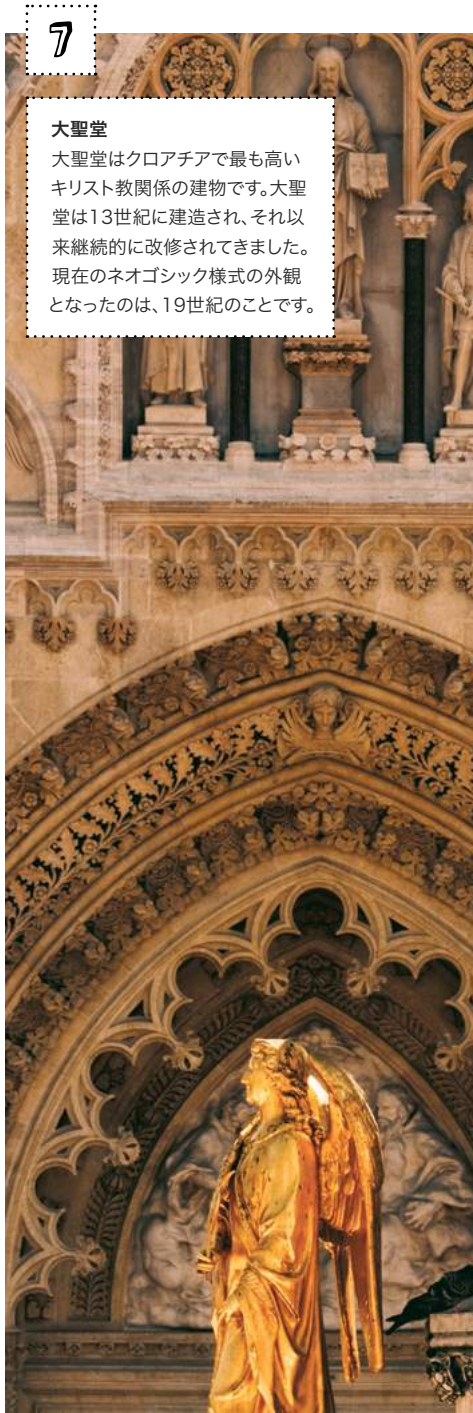
ウスピニャチャは、公共交通機関の中では世界で最も短い路線を走るケーブルカー鉄道で、1890年以来ダウンタウンとアッパータウンを結んでいます。



6

マクシミル

マクシミルは、多数ある市営の公園の中で最大にして最も美しい公園です。この公園は1794年に開園し、イギリス様式の庭園をモデルにして造園されました。公園内には、動物園が併設され、数多くの湖とパヴィリオンがあります。詳しくは、20ページをご覧ください。



7

大聖堂

大聖堂はクロアチアで最も高いキリスト教関係の建物です。大聖堂は13世紀に建造され、それ以来継続的に改修されてきました。現在のネオゴシック様式の外観となったのは、19世紀のことです。



8

先端

ザグレブの先端は、イェラチッチ広場からペタル・プレラドヴィッチ広場(花の広場)までの直線的な通りで、その範囲には周囲の通りも含まれています。そこには、カフェのテラス席が数多く並べられ、またそこで一杯のコーヒーを飲む文化が定着していることから、街の休憩場所となりました。



9

ロトウルシュチャクの塔

ロトウルシュチャクの塔は、その昔町を守るために作られた防衛手段の中でもっとも保存状態の良いものひとつです。この塔の中には、グリチュの大砲が置かれており、毎日ちょうど正午に大砲の音が鳴り響きます。



10

メドヴェドニツァ山

メドヴェドニツァ山は、街の北側に位置する山です。この山は、非常に多くの自然が残されている自然公園であり、またザグレブ市民たちのお気に入りの行楽地でもあります。

緑あふれる ザグレブ ザグレブでは、自然 と良いことが起こ ります

ザグレブについて
もっと知りましょう。



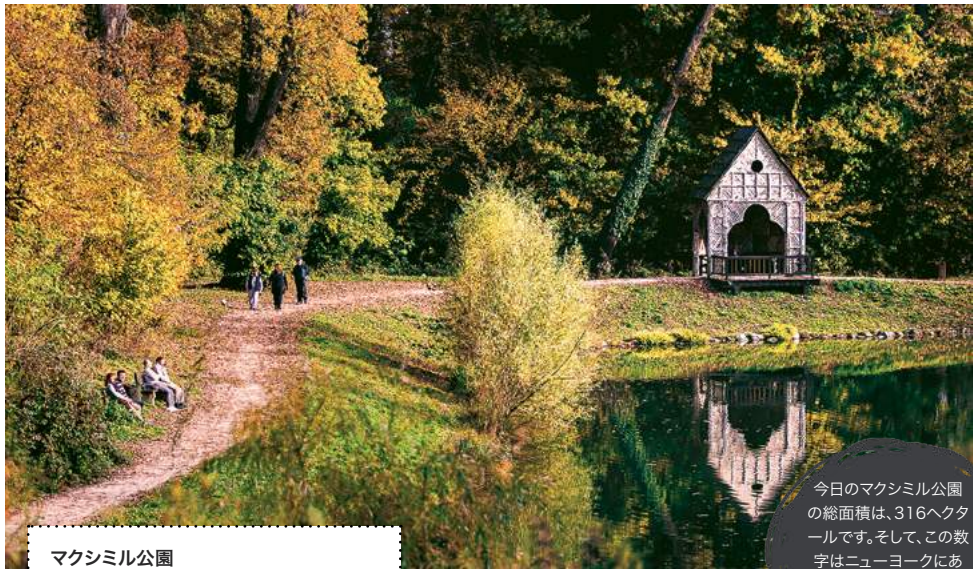
私たちはぜひ、天気の良い日には市営の公園のどれか一つを散策し、またそこでくつろぐことをお勧めします。もし、あなたが自然を愛する人であるならば、休息できる場所が気晴らしできる場所を探しましょう。ザグレブの公園は、間違いなくあなたに喜んで足を運んでいただくに値する場所です。公園は街のいたるところにあり、それらの公園は、間違いなく芸術作品としての価値も持ち合わせています。そして、それらの公園へ行けば、昔から言われている人生で最も素晴らしいのはただであることだという言葉が真実であることが証明されます。

メドヴェドградゥ

この非常に保存状態のよい中世に建てられたお城は、軍事的な要所であるメドヴェドニツァ山の南斜面にあり、そこからはザグレブとその周辺地域の魅力的な眺めを堪能できます。このお城は、タートル人による侵略が行われた後の1242年に建設されました。メドヴェドニツァのお城にはまた、後期ゴシック様式の小さな礼拝堂である聖フィリップと聖ヤコブの礼拝堂、そして祖国の聖餐台があります。この聖餐台は、祖国戦争で戦死したクロアチア軍の兵士たちを追悼する慰霊碑です。

メドヴェドニツァ山

街のどこからでも見ることのできるメドヴェドニツァ山によって、ザグレブは古より北側から吹いてくる冷たい風、そして北方からやってくる侵略者から守られてきました。今日、メドヴェドニツァ山の全域は自然公園として保護されており、そこには森林に覆われた8つの野生動物の保護区があります。たくさんの泉と小川、さらには土地の段差によって、植物や動物の生息地が守られてきました。メドヴェドニツァ山は地質学的に見れば、地層が複雑な山です。あなたはクロアチアで最も重要な古代生物の化石が発見された場所の一つであるヴェテルニツァ洞窟を見れば、メドヴェドニツァ山の地層を理解するための貴重な手がかりを得るでしょう。メドヴェドニツァ山で一番高い場所は頂上であるスリエムで、頂上は標高1033mのところにあります。また、ザグレブ市民たちの間には、週末になるとメドヴェドニツァ山に登りに行くという長い伝統があります。そのため、山のいたるところにたくさんの舗装された登山道や山小屋があります。山小屋はいつも陽気な雰囲気満ちていて、またそこではいつでもおいしい手作りの料理が食べられます。



マクシミル公園

もしあなたが街の人波から完全に離れ、深く木々が生い茂った100年もの歴史を持つ森の中で時を過ごしたいと思うのであれば、マクシミル公園を訪れてみてください。マクシミル公園は、南東ヨーロッパで初の公立公園として、早くも1794年に一般の人たちのために開園されました。この公園の名前は、その創設者であるマクシミリアン・ヴルホヴァツ司教に由来し、またこの公園はイギリスの庭園のスタイルに合わせて造園されました。マクシミル公園内では、落ち着いた雰囲気の木々に覆われた森のほかに、5つもの湖、数多くの小川、そして動物園やイエコのパヴィリオン、さらには展望台などたくさんの教育、余暇、娯楽用の施設を発見するでしょう。

今日のマクシミル公園の総面積は、316ヘクタールです。そして、この数字はニューヨークにあるセントラル・パークの面積とほぼ同じです。



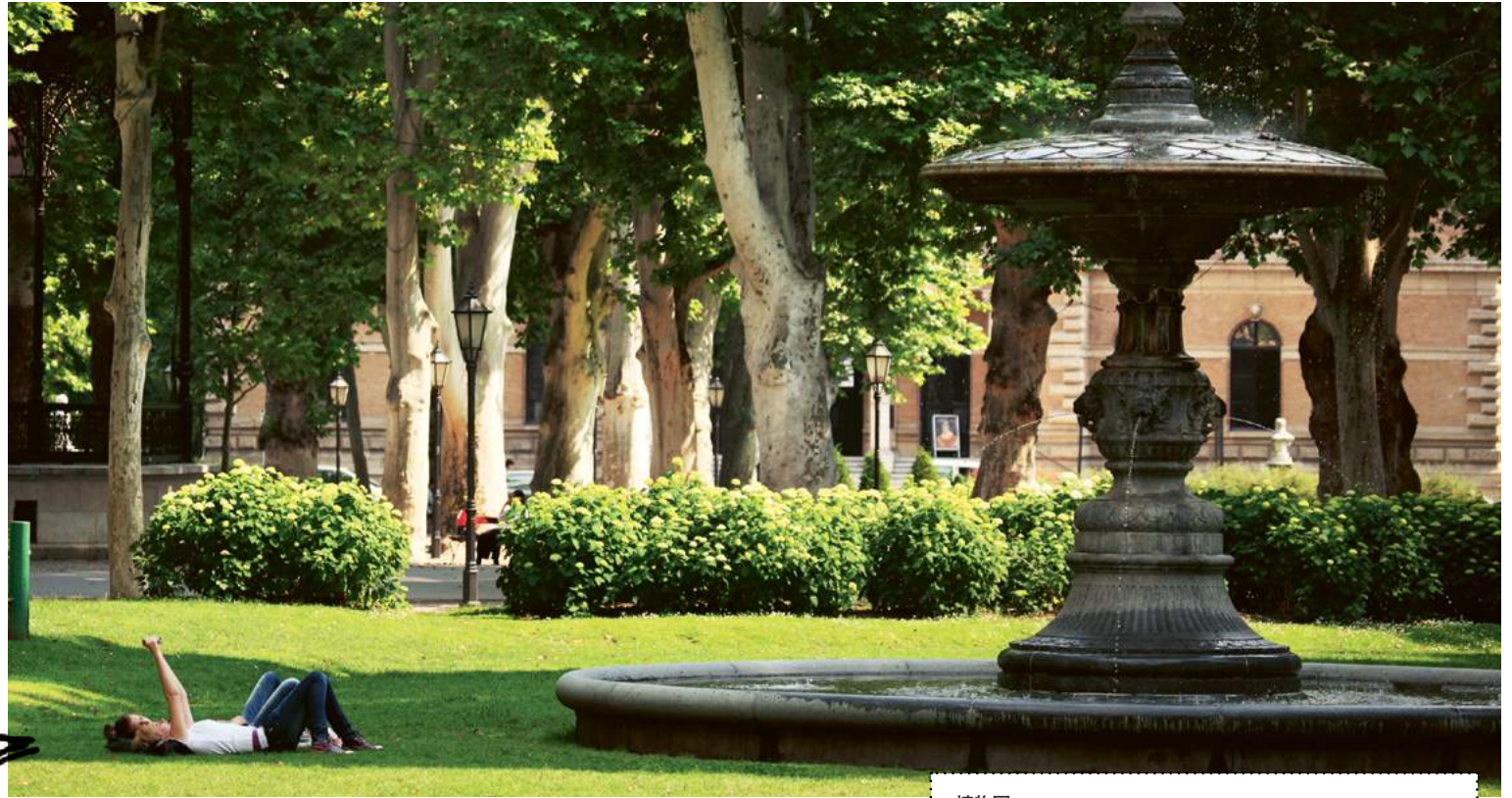
ミロゴイ墓地

ミロゴイは最大の市営墓地であり、また、すべての人々に開放された非常に美しい公園であり、また美術館でもあります。全長が約500mある壮麗な後期ルネサンス様式の拱廊は、建築家ヘルマン・ボレの計画に基づいて建設されました。この拱廊はクロアチアにおける最大の歴史主義建築です。ミロゴイ墓地はまた、あらゆる宗派に開かれた他に例を見ない特別な墓地でもあります。というのも、そもそも墓地の敷地内では宗派別の区分が設けられておらず、宗教別に埋葬される場所を区切るための柵をつくることさえ禁止されています。墓地の中には完全に周囲の自然と一体化したたくさんの彫像、パヴィリオンと美術館があるため、飽きることなく散歩を楽しむことができます。



気象台

ズリニェヴァツ公園の北側の入り口には、1884年に気象台が設置されました。毎週月曜日になると、気象台の機械装置が人の手で巻かれ、湿度、気圧、そして気温を表示する帯が取り替えられます。



レヌチの蹄鉄

レヌチの蹄鉄は、街の中心部に位置する広場や公園が集中する非常に美しい地域であり、その名称は19世紀のザグレブにおける偉大な都市設計家であるミラン・レヌチにちなんでつけられました。この地域はまた、緑の蹄鉄とも呼ばれています。この地域を構成するのは、7つの非常に美しい広場と植物園です。この地域全体は、高水準の建築技術で建てられた公園や住宅、そしてたくさんのザグレブを代表する歴史的な大邸宅があることで有名です。それらの建物が密集する場所に、いくつかの文化的および文化施設や学術機関、若干の省庁、裁判所、多数の博物館、ホテルや美術館、さらには鉄道の中央駅があります。それらの施設がある場所に位置する公的な諸機関の反対側には、たくさんのリラックスできる雰囲気のある広場があります。それらの広場が特にそうした雰囲気の中に包まれるのは、広場の中が芝生の上で日光浴をする人や、束の間の休憩をとる人々であふれている時間帯です。

植物園

ちょうどレヌチの蹄鉄の端には、今まで紹介してきた公園の中で唯一開園時間が定められている公園があります。それは、ザグレブ大学の自然数理学部が管理する植物園です。そこにはじめて植物が植えられたのは、早くも1992年のことです。また公園はイギリスの庭園様式に合わせて造園されています。花が植えられた公園内の一角は、左右対称の歴史主義様式で建造されています。

植物相の多様性

植物園には、約5000種類の植物が集められており、またそれらの亜種のうち、300種類が保管されています。



シュトロスマイエル遊歩道

シュトロスマイエル遊歩道は、ウスピニャチャから下車した時に、最初に見えてくるものです。このシュトロスマイエル遊歩道はザグレブではじめて作られた遊歩道で、その建設は早くも1812年に始まり、そして市民たちの自発的な寄付によって集められた資金を元手に建造されました。この遊歩道の魅力は、ロトゥルシュチャクの塔のような街にある重要な観光名所に程近くにあるという立地条件だけではありません。遊歩道からは、非常に美しいダウンタウンの全景を眺めることができます。著名なクロアチアの詩人であるA.G.マトシュも、そうしたダウンタウンの全景を愛していました。そして、街は1978年にマトシュのお気に入りだった場所に興味深い彼の記念碑を設置しました。



A.G.マトシュ

1972年に、イヴァン・コジャリツチという彫刻家がアルミニウム製の有名なクロアチアの文学者の彫像を制作しました。それは、彼のこのザグレブをこよなく愛した人物に対する敬意の証です。

ロマンティックなザグレブ

もしあなたが恋人と一緒にザグレブへといらっしゃるのであれば、ぜひアップタウンで自分たちの南京錠を懸け、愛のベンチの一つに腰掛けて休憩するか、ロトゥルシュチャクの塔の下にある恋人たちが口づけをかわすスポットに行き、キスをしてください。



リブニャク公園

ザグレブ大聖堂がそびえたつ一角に沿って歩くときどきあるところにあるリブニャク公園の中には、かつて司教たちの魚の養殖池がありました。そして、1829年には、養殖池があった場所全体が何種類もの異国情緒を漂わせる植物が植えられたイギリス様式の魅力的な公園へと生まれ変わりました。リブニャク公園は、街の中心部の南端に位置するという立地条件により、街の名所を見て回るときには理想的な休憩場所です。



ヤルン

ヤルンは、ザグレブの西部地域にある最大の公園であるだけでなく、そこに住む市民たちにとってお気に入りのレクリエーション・スポットでもあります。ヤルンは、かつては川岸に堤防を築くときに使用される建設用の材料の採掘場にすぎませんでしたが、ユニヴァーシアード大会を開催するために、1987年に整備されました。

ヤルンにある自転車および歩行者専用の道路、スポーツ競技とトレーニング用の設備、ならびにたくさんのカフェやレストランは、日中の街の人波から逃れられる魅力的な場所です。ボート用のレーンでは、ボート競技の国際大会も開催されます。そして、大きな砂利の渚によって、その場所は独特の雰囲気醸し出しています。それらの渚にちなんで、ヤルンはしばしばザグレブの海と呼ばれています。



ブンデク公園

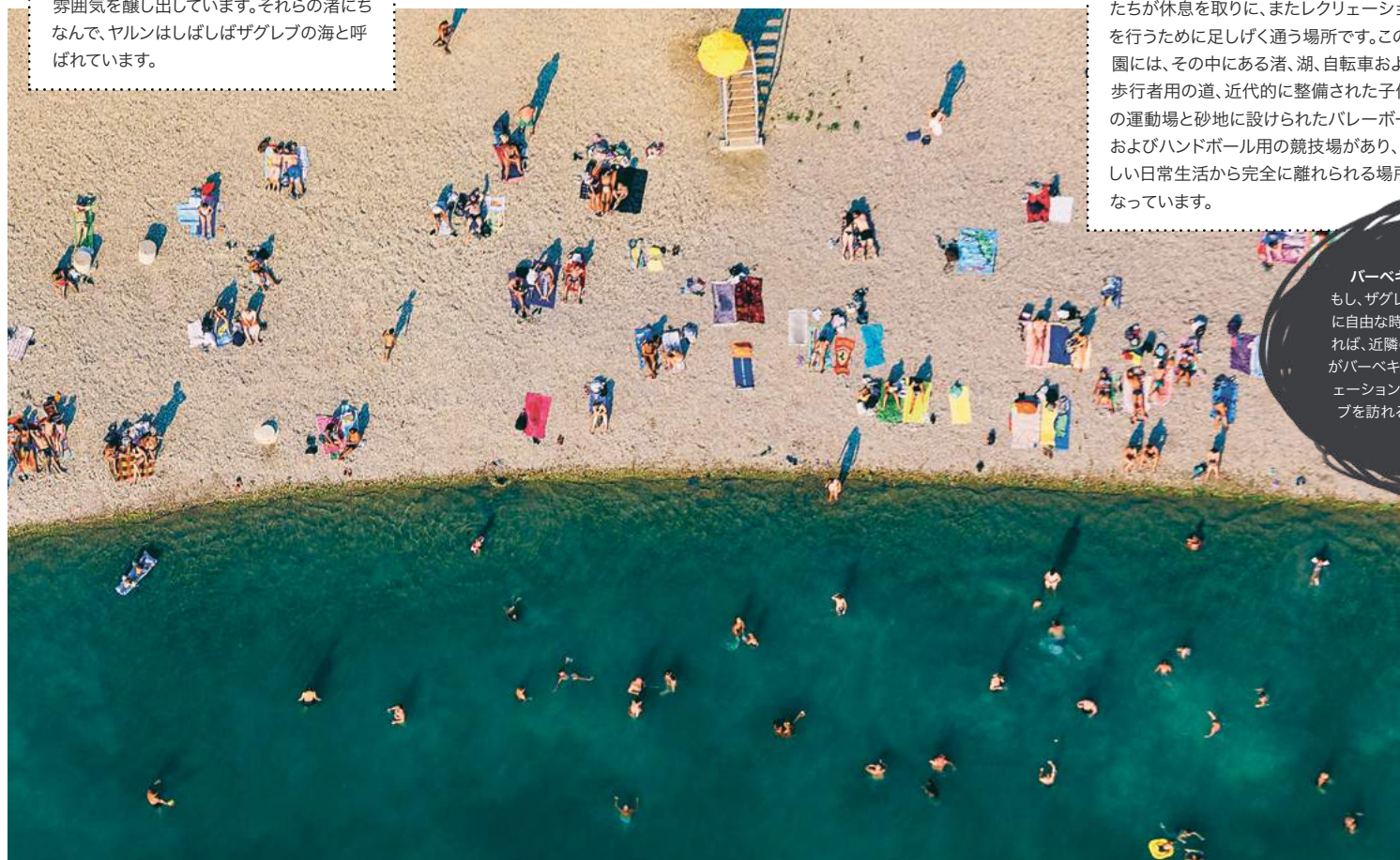
ブンデク公園はスロボダ橋とムラドスト橋の間に位置しており、ノヴィ・ザグレブの住人たちが休息を取りに、またレクリエーションを行うために足しげく通う場所です。この公園には、その中にある渚、湖、自転車および歩行者用の道、近代的に整備された子供用の運動場と砂地に設けられたバレーボールおよびハンドボール用の競技場があり、忙しい日常生活から完全に離れられる場所となっています。

バーベキューのための週末

もし、ザグレブ市民たちがどのように自由な時を過ごすかを知りたいければ、近隣の地区に住む住民たちがバーベキュー、娯楽およびレクリエーションを楽しむ週末にザグレブを訪れることをお勧めします。

ゴルフ場

広大なヤルンの緑地帯はスポーツ関連の施設のために使用されており、そこにはゴルフ場もあります。このゴルフ場は、気候が温暖な春と夏の数か月間、身分の高い人向けの競技であるというイメージが定着しているこの競技をプレーしたいと思うすべての人々を受け入れています。その空間は、人々が交流し、リラックスすると同時に、アクティブな時間を過ごすのに最適な場所です。



隠されたザグレブ 一度では見尽くせ ない街



ブリタンスキ広場における見本市
ザグレブにおける数世紀もの商業と見本市の伝統は、道のいたるところで見られます。しかし、その原型をそのままとめている見本市を見つけるのは難しいです。確かに、そうした原型を残している見本市の一つが、ちょうど街の中心部に位置しているブリタンスキ広場で開催される見本市です。もし、あなたが何かの収集家や特定のものを熱狂的に愛している人であるか、ありのままの地元の空気を感じたいのであれば、街の人たちの中で人気のあるブリタンスキ広場はあなたに最もお勧めできる場所です。

ザグレブについてもっと知りましょう。



何かを心底愛してしまうには、常に何かしらのはっきりとした理由があります。それは、通りがより魅力的になる、広場の個性が今まで以上に強くなる、あるいは公園がこれまでよりもたくさんの木々で覆われるようになるには、何かしらの要因があるのと同じです。なにかさりげないものによってあなたは笑顔になり、何かしらの予期していなかったことを通じてあなたの人生は少し今までよりもすばらしいものとなります。それらを見つけるガイドブックは存在しないので、あなた自身で発見してください。しかし、私たちはそれらのうちのいくつかをご紹介しますと思います。



隠されたザグレブ



ピンブ・マイ・ポンブ

ピンブ・マイ・ポンブと名付けられた地元の芸術家たちが考案した企画は、ストリート・アートの優れたお手本です。また、この企画で採用されている手法も、街中にあるたくさんの古い水道管に以前の外見からは想像できない個性的で派手な絵を描くという非常に興味深いものです。



太陽系

この企画のすべての始まりは、1971年にイヴァン・コジャリッチという彫刻家が「地上の太陽」という彫刻を制作したことでした。そして、2004年になると、ダボル・プレイスという一人の芸術家が、「地上の太陽と9つの光景」という企画を発表しました。プレイスは、コジャリッチが作った太陽の彫刻の大きさを念頭に置きながら、太陽系の惑星の彫刻を制作しました。そして、彼は当然、銀河系の中で惑星が実際に位置する場所、そして銀河系内での惑星間の関係を考えながら、それらの彫刻を広範囲にわたって街の領域内の各所に配置しました。

冥王星

ザグレブにある太陽系の彫刻の中で、最も離れた場所にあるのが冥王星の彫刻です。この冥王星の彫刻は、「地上の太陽」の彫刻が設置されている場所から76,586メートルも離れた街の出口であるアレイ・ポローニャに置かれています。



ネルソンの船の鎖

装飾を施されたネルソンの船の鎖は、オパティカ通りとカメニタ通りの角にあります。伝えられるところによると、この鎖はもともと有名な船であるヴィクトリー号につけられていたものです。この船を指揮していたのは、高名なホラティオ・ネルソン提督です。そして、彼はこの船によってトラファルガーでの大規模な戦闘に勝利したのです。鎖はもともと、アイルランド人でありながらオーストリア軍の一将軍であったラヴァロ・ヌゲントの遺産の一つであったと考えられています。このヌゲント将軍はまた、情熱的な考古学者であり、古物収集家でもありました。



ザグレブで最古の薬局

石の門の角に、つまりは石の門の少し上に、ザグレブおよびその近隣地域で最古の薬局があります。この薬局について初めて言及されたのは、早くも1355年のことでした。そして、この時期から薬局は絶え間なく営業しています。営業開始以来、ここでは数多くの薬剤師たちが入れ代わり立ち代わり働いていましたが、その中でもっとも有名な薬剤師は、もちろん神曲の作者であるダンテ・アレギエーリのひ孫であるニコロ・アレギエーリです。



ユーリエの墓地

ユーリエの墓地の存在については、多くのザグレブ市民たちにも知られていません。ユーリエの墓地は、かつては栗の木が立ち並ぶ区域の端にある墓地とも呼ばれていました。そして、そこにはすでに14世紀以来、街に住む貧しい人たちが埋葬されていました。1622年には、この墓地はアッパータウンの住人たちが埋葬される場所として整備され、同墓地が墓地としての役割を喪失し、実に神秘的な街の憩いの場となる1876年まで絶え間なく、多数の著名なクロアチア人たちがこの墓地に埋葬されました。



ガスランプ

忘れがたくロマンティックなアッパータウンの雰囲気を感じ出しているのが、214個ものガスランプです。街のこの地区に位置する通りは、すでに150年以上もの長きにわたって、これらのガス灯によって照らされています。とりわけ、興味深いのが、街の「火付け人」たちの手で毎日鑄鉄製の柱にかけられているランプに火がともされることです。彼らはそのような美に歴史を感じさせる分意を演出するために一役買っています。

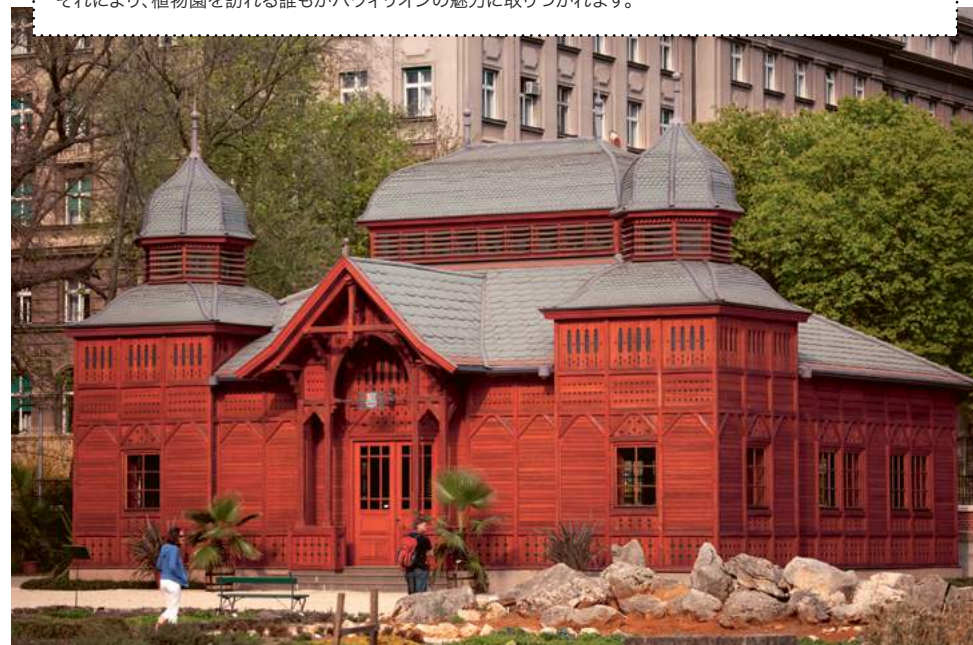


ザグレブの秘密の庭園

ザグレブは、そこにある絵のように美しい庭園で有名です。とりわけ、それらの庭園の中でも名高いのが、アッパータウンにある庭園です。そして、それらは例外なくそこにまつわる独自の逸話があります。それらの中には、一流の芸術家、建築家および園芸家たちによって作られた不朽の名作も含まれています。それらの庭園は、小さいながらもどかな隠れ家であり、また新たな逸話が作られる場となっています。

植物園にあるパヴィリオン

植物園のパヴィリオン、あるいは展示用のパヴィリオンはそこにある最大にして最も歴史の古い建造物で、植物園が開園する一年前の1891年に建造されました。この建物は元々、オーストリア・ハンガリー帝国の時代に開催された第二回万国博覧会の際に、当時のハンガリー王国政府のパヴィリオンとして建てられたもので、その後植物園に寄贈されました。このパヴィリオンは、木々やそこに植えられたとても美しい花やその他の植物に囲まれており、その独特の色合い、すなわち赤い木製の正面、緑色をした窓枠が醸し出す独特の色合いで有名です。それにより、植物園を訪れる誰もがパヴィリオンの魅力に取りつかれます。



ザグレブのトンネル

伝えられるところでは、数キロメートルにおよぶトンネル網がザグレブの地下を通り、それらのいくつかはおそらくメドヴェドニツァ山にまで伸びているとも言われています。しかしながら、それらのトンネルの一つ、つまりグリチュのトンネルについては、誰もが知っていますし、人々に公開されています。グリチュのトンネルはメスニツァ通りとラディッチ通りを結び、また南方向に向かってイリツァ通りとトミッチ通りにまで伸びています。このトンネルは第二次世界大戦期の1943年に建設され、また1991年から1995年まで続いた祖国戦争の時期には防空壕として利用されました。

ノヴィ・ザグレブ



サヴァ川にかかる緑の鉄橋—緑の橋

ここでは、鉄橋についてご紹介します。この鉄橋は、1939年に建設されたもので、橋自体の緑の色彩およびかつて何度となく書かれた「ヘンドリックス」という落書きで有名な保護文化財です。この落書きは、伝説的なギタリストをしのんで書かれたものです。まさにそうした落書きによって、街は有名になり、また完全にザグレブ市民たちによって熱狂的に愛される存在となると同時に、日常会話の中では「ヘンドリックスの橋」という名で呼ばれるようになりました。装飾を施された照明によって、この街の名所は新たな個性が加えられました。

ストリート芸術

ザグレブにおけるストリート芸術は、近年街に豊かさや多様性をもたらす一つの現象となっています。街には、数多くの才能ある芸術家たちと芸術集団が存在します。そして実際に、中心地から街のはずれにいたるまで、毎月素晴らしい壁画が描かれています。ストリート芸術博物館の協力の下、ノヴィ・ザグレブは初めて芸術家たちによって領域全体に装飾が施された街区の一つとなりました。中でも、ドゥガヴェェ区域は今までは異なる新しく魅力的な個性を持つ場所となりました。



高層共同住宅

この高層共同住宅は、クロアチアにおいて最大の共同住宅の建物であり、またヨーロッパ内においても最大のものの一つでもあります。高層共同住宅は1974年に建造され、そしてその内部のある部屋数は全部で1169部屋あり、そこには約5000人の人々が居住しています。この住宅は多くの公園と緑地に囲まれ、またそこに住む人々の話によれば、実に快適な生活が送れる場所です。



近代芸術博物館にある二重のコースター

近代芸術博物館にあるアトラクションの一つが、「二重のコースター」です。このコースターは、カルステン・ヘラーによる概念彫刻であり、これによって観光客たちは博物館内の各セクション内を特別に移動することが可能です。

ザグレブの大見本市

第二次世界大戦以前には、サヴァ25で開かれるザグレブの大集会として知られていたザグレブの大見本市は、1956年にサヴァ川の南側から現在の場所へと移されました。そこに移設されたのちに、この見本市は1960年代にヨーロッパのこの地域で最大の見本市の一つとなりました。そこに設置された展示場では、様々な規模や性格の展示会や見本市が数多く定期的で開催されています。そこで開かれる展示会や見本市は、書店や出版社によるものからビジネス関連、ならびに物質文化や生活必需品に関連するものまで至っており、実に多彩です。

フレリッチ(ヤクシェヴァツの蚤の市)

フレリッチは読んで字のごとく蚤の市を意味する言葉であり、この蚤の市は街の領域内の少し外に位置しています。しかし、そこへは公共交通機関を使っても簡単にいくことができます。蚤の市では、何かを買わずにはいられません。もし少額のお金しかもっていなかったら、フレリッチの蚤の市では何も買うことができます。ここでは、靴や本から工具や自動車にいたるまで、あなたが想像できる商品がすべて取り揃えられています。そして、値切り交渉は必須です。

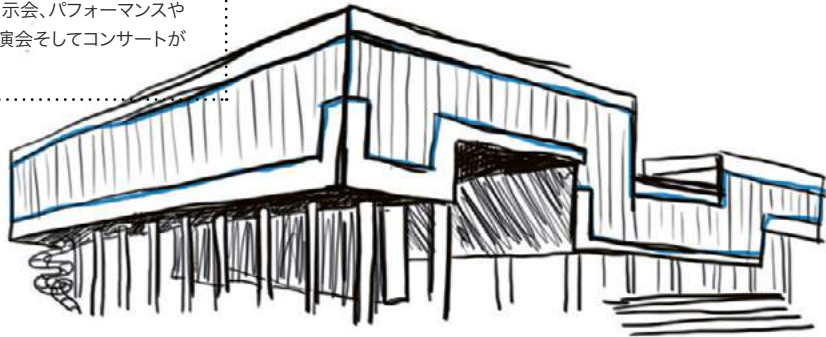


文化と芸術 人生をより素晴らしくするもの



近代芸術博物館

近代芸術博物館は、2009年に建設された壮麗な建物の中にあります。この博物館にある常設展示場所には、約1200もの1950年以降に作られたクロアチアと国外の芸術家による作品が陳列されています。建物の内部および建物の上ではまた、定期的に様々な展示会、パフォーマンスや演劇、映画の上演会そしてコンサートが開催されます。



古典古代と中世の芸術作品、伝統的な芸術作品と近代的な芸術作品、学術的な芸術作品にナイーブ・アート、荒々しい芸術作品に恋愛にまつわる芸術作品、幻想的な芸術作品と写実的な芸術作品、あなたはザグレブでこれらすべてを見つけることになるでしょう。ストリート・アートは好きですか？施設や閉鎖的な空間の外に出て、街全体に広がる芸術の世界を探してみてください。

ザグレブについても
っと知しましょう。



考古学博物館が所有するミイラは、いつからザグレブにありますか？オーストリア・ハンガリー帝国の秘書官であり、冒険家でもあったミハエル・バリッチという人が、1848年から49年に初めてエジプトを訪問した際にミイラを購入しました。

考古学博物館

考古学博物館は、荘厳な歴史ある宮殿とおそらくザグレブで最も美しい広場の中にあるというだけでなく、とても価値のある財産を持っています。特に、博物館を訪れる人たちが強い関心を抱くのが、有名なザグレブの亜麻製の文書、現存するものの中では世界で最も長いエルトリア語によるテキストが記された手書きの文書、唯一現存する古典古代の時代に書かれた文書の写本、そしてエジプトのミイラです。このミイラはかつて位置から復元され、数世紀の間謎のベールに包まれ、またちょうど前述の不思議な亜麻の文書で巻かれていました。

クロアチア・ナイーヴアート美術館

この博物館には、1930年代から1980年代末までに作られた有名なクロアチア・ナイーヴアート学校の作者に代表されるようなクロアチア・ナイーヴアートの一流芸術家による画集や像、ならびに重要な国外の芸術家の作品が展示されています。



民俗学博物館

この博物館では、常時陳列されているクロアチア全土から集められた民族衣装、ならびにヨーロッパ外地域の文化を主題とした展示品を見ることができます。さらに同博物館では、近代的な紹介の仕方とテーマの選択に基づく、人類の生活と関連する様々な分野に関する臨時的展示品を見ることが可能です。



クロアチア歴史博物館

早くも1846年に創設されたこの博物館では、初期中世から今日までのクロアチアにおける歴史的遺産が保存および研究され、また紹介されています。

ザグレブ市博物館

早くも1907年に設立された博物館は、先史時代から今日に至るまでの街の歴史について紹介しています。博物館にある常設の展示スペースでは、その歴史や政治から文化と娯楽のあり方にいたるまでの、ザグレブのありのままの姿が紹介されています。そこにある多くの展示品と視覚に訴えて人々の興味をそそる陳列方法は、博物館を訪れる人々に街の豊かな歴史を想像させ、また彼らの興味を駆り立てながら、昔からのザグレブ市民たちの日常生活について紹介しています。

ニコラ・テスラ技術博物館

ニコラ・テスラ技術博物館は、すべての科学技術愛好家だけではなく、この分野について学びたい人々にとっても、お勤めの場所です。館内には、ニコラ・テスラの発明を実演する実験室、ならびに彼の発明品である特斯拉コイルの原寸大の模型があります。その模型は、なんと全長が300mもあります。



美術工芸博物館

美術工芸博物館は、芸術家と職人によって作られた製品を大量に当時大量に流入していた工業製品から守ることを目的に1880年という早い時期に創設された博物館です。この博物館は、クロアチアにおける物質文化の歴史について知るには最適の場所です。





メシュトロヴィッチのアトリエ

聖マルコ教会のすぐ近くには、非常に保存状態がよく実に創造性に富んで生き生きとした雰囲気を持つ彫刻家イヴァン・メシュトロヴィッチの作品の展示空間があります。その展示空間には、彼が制作した大理石、石、木材および青銅の彫刻や、スケッチ、製図、ならびにグラフィック・アートが展示されています。これらの作品を見れば、彼の作品が作られた時代を一目で理解できます。

近代美術館

この美術館にある常設展示スペースには、画家、彫刻家とメダル意匠家、そして新たな媒体を利用する芸術家たちによる750以上もの最高傑作が展示されています。これらの傑作によって、19世紀から今日までのクロアチアの表現芸術は世界屈指の品質を誇るという事実が証明されます。



ミマラ博物館

美術収集家であったアンテ・トピッチ・ミマラとその配偶者であるウィルトルダ・ミマラの寄付によって設立され、後期ルネサンス様式の大邸宅の中にあるミマラ博物館は、古典古代の時代から20世紀にいたるまでの歴史区分も様式も異なる美術品のコレクションを多数所蔵しています。



博物館の夜

ザグレブでは(その他のクロアチアの諸都市においても)、毎年博物館の夜というイベントが開催されます。この時には、すべての博物館に観光客は無料で入場できます。



芸術バヴァリオン

芸術バヴァリオンはヨーロッパで初めて建造された組み立て式の建造物の一つであり、1896年にブダペシュトで開かれた万国博覧会の会場からザグレブに移設されました。この芸術バヴァリオンはレヌチの蹄跡区域を象徴する建物であり、また大規模な色覚芸術の回顧展の会場でもあります。

クロヴィッチの中庭

この美術館は17世紀に建設された壮麗なイエズス会修道院の中に位置し、そこでは何よりも視覚芸術関連のコレクションが集められています。クロヴィッチの中庭は、街における文化活動における常に重要な位置にあり、展示会、ワークショップや実演などの大規模な文化および芸術的なイベントの開催場所でもあります。

以下の場所もぜひ訪れてみてください

- ・ **拷問博物館**—この博物館では、興味深くも見る人に恐怖を与える古代から現在までの拷問や処刑を行うための器具のコレクションが展示されています。
- ・ **イリュージョン美術館**—人間の知覚の限界を変える興味深く、視覚や知覚に訴え、何よりも面白い経験をすることができます。
- ・ **きのご博物館**—この博物館では、知的で面白い展示会が行われています。展示場の陳列台には、この以前の産物について解説する多数の陳列品が並べられています。



失恋博物館

初めは寄贈品のコレクションを陳列する移動型の展示会にすぎなかったが、今日ではザグレブで最も人気のある博物館の一つとなっている失恋博物館は成就しなかった恋愛やその他の人間関係を主題とした展示品を専門に扱う博物館ですが、それらの展示品は世界中の人々が手放した個人の所有物です。この博物館の創設者は、ザグレブに住む芸術家と女流芸術家で、彼ら自身がかつては互いに愛を育んでいたカップルでした。彼らは別れましたが、その後も、二人の思い出の品を用い、世界に失恋にまつわる物品を紹介するとはゆめにも思っていませんでした。それらを展示する展示会が世界各地で行われ、大成功をおさめるとともに、多大な物品が寄付されました。その後、この展示会は2010年からはアッパータウンにある現在の建物内で常時開催されるようになり、さらにはその後まもなくヨーロッパで最も革新的な博物館として受賞しました。



ヴァトロスラヴ・リシンスキーコンサートホール

このコンサートホールは、初めてクロアチア語によるオペラを作った作曲家の名前にちなんで命名されました。そして現在にいたるまで、このコンサートホールは、何度も行われた世界的に有名な合奏団や独奏者たちによる素晴らしい演奏会によって、ザグレブの文化的な価値を向上させてきました。このコンサートホールでは、ポリショイ芸術団、ミラノスカラ座交響楽団、ウィーン交響楽団やロンドン王立交響楽団が演奏し、また世界的に名の知られた歌手の中では、ルチアーノ・パヴァロッティ、ホセ・カレーラスやモンセラート・カバリエやその他多数の歌手たちが歌いました。そうした格式が高い音楽の世界的に最も名を知られた巨匠たちだけではなく、リシンスキーはニック・ケイヴ、ティナ・ターナーやエラ・フィツジェラルドなどの、幾人かの娯楽性が高い音楽やジャズ、さらには前衛的な音楽路線をとる最も偉大なスーパースターたちも招いています。



クロアチア音楽協会

ザグレブで初のコンサートホールは、1876年に建設された現在の協会の建物内にあります。特別な音響設備をもつこのコンサートホールは、質の高い室内楽のコンサートが催される場所となっています。



クロアチア国立劇場

荘厳な歴史あるクロアチア国立劇場の建物は、1895年に開かれました。その建物には、ただ訪れるだけでも十分な価値があります。しかし、オペラ、演劇、そしてバレエと多彩な劇場のプログラムを見れば、さらなる驚きを感じます。

音楽アカデミー

このクロアチアで最も古い音楽関係の高等教育機関はまた、まれにみる高度な専門教育を施し、非常に優れた音楽家を育てることで有名です。そして、この高等教育機関は同時に学校の建物内や街のいたるところにあるコンサートホールで数多くのコンサートや演奏会を行ってきた実績があります。アカデミーは現在2014年に建設された魅力的な建物内にあります。この建物の目印は、虹色をした独特の屋根です。

通りにある芸術

音楽アカデミーの前にある、傾斜した銀メッキの加工が施されたピラミッドの断片に似た戦闘は、高さが29mもあります。



ザグレブで開 催される様 々なイベント 毎日すべての人に 何かを



ザグレブについて
もっと知りましょう。



ザグレブでは、イベントに遭遇しないことはイベントを見つけることよりも困難です。毎年、ザグレブでは、以前にもまして舞台上演会、祭典、コンサートが開催されるようになり、街の各地区は活気あふれる創造的なエネルギーに満ちた場所へと姿を変えます。これらのイベントは、かつては公館やクラブ、公園といったごく一部の場所においてのみ行われていましたが、現在ではその開催場所はさらに拡大され、街の通りや広場でも行われるようになりましたが、それはイベントの新たな一面です。これらのイベントは、おのずとザグレブ市民やザグレブに滞在しているすべての人々にとって、日常生活の一部となっています。

デザインの町ザグレブ

街区で行われる祭典を目にすれば、たとえあなたが地球単位で物事を考えていなくても、ある特定の場所だけにとどまって活動することなど不可能であるという事実が明らかにされ、証明されます。6月の数日の間、マルティッチ広場周辺の地区全域が、デザインおよび娯楽関係のイベントの開催場所へと姿を変えます。また、隣接する通りや広場は訪問者たちに自らの作品やそれらにまつわる考えを紹介しようとする芸術家やそれ以外のあらゆる住人たちに開放されます。街区での生活をさらに爽やかなものにしようという動きに加えて、そこではまた、美食家や旅行者向けの商品、夜間に行われる音楽会や文学界、さまざまな創作活動のワークショップや教養を深めるための散策のプロモーションが行われます。その目的はひとえに、地区を街の中で最も活気に満ちた創作活動の拠点にすることです。

イブレルの超高層ビル
イブレルの超高層ビルは1958年に建造され、一般には「木造の高層ビル」と呼ばれています。この建造物は、街にある高層ビルの中では最古のものです。



ザグレブ

ザグレブで開催される様々なイベント

シュトロスマイエル遊歩道の夏

シュトロスマイエル遊歩道は、より一般的にはシュトルトルと呼ばれています。この呼び名は、この遊歩道よりも幾分有名なパリの遊歩道であるモンマルトルをもじったものです。そして、夏の数か月間、一杯の美味しいワインを飲み、毎日生演奏の音楽を聴きながらくつろぐか、丘の上から街の景色を堪能することができます。シュトロス遊歩道では、毎年最も美しい雑種の犬を選ぶコンテストが開催され、さらにまた、伝統として1年の半分にあたる日を迎え、一発の大きな花火を打ち上げて大々的に祝います。



ツェストイズドゥベスト

ザグレブにおける春は、この国際的に富み複合メディアが使用される通りの祭典が始まると、その美しさを一層増します。この祭典は、街の精神に深く根差したものです。この祭典は、本当の意味での街のお祭りです。というのも、街そのものがお祭りの舞台であり、また時には、その場を偶然通りかかった通行人たちが祭典の共同製作者や参加者にもなるからです。しかし、彼らは、赤ちゃんが地面を這って早さを競い合う競技や、ウェイターや清掃人たちによる3輪車競争、記号を読み解く速さを競う記号の学校、誰が一番遅く自転車をこげるかを争う競技、固定されていないピアノを誰が一番うまく弾けるかを競うコンテスト、その他そこで実際に行われる催し物に参加する必要はありません。舞台は意図的に街の中心にあるいくつかの広場や通りに設置されているので、あなたが予期せずして祭典の主役になることは大いにあり得るのです。



中庭

アッパータウンの正面から、荘厳なバロック様式の大邸宅の中庭を覗き見してみよう。これらの中庭は、継続的に表明されている「中庭」というたった一言の合言葉のもと、毎年訪問客たちに開放されています。訪問者たちを待っているのは、選りすぐりの演奏家たちによる音楽の生演奏、品数の豊富な料理と飲み物、そしてザグレブの文化と歴史に関する興味深い講義です。この祭典は、このくつろげる空間の中で忘れがたい時を過ごすことができる大変貴重な機会です。そして、毎年ある一つの中庭が新たに解放され、また訪問者たちにその中庭にまつわる物語について知らせることになります。



通りのエンターテナーたち
大道芸人とストリート・ミュージシャンたちも、cest is bestが開催期間を除けば、ザグレブの通りで見ることができます。

ザグレブ・クラシック

古典芸術の愛好者たち、ならびにポジティブな雰囲気を楽しむすべての人々を対象に、ザグレブでは夏に「ザグレブ・クラシック」という祭典も企画されています。この「ザグレブ・クラシック」は、街を代表する場所と芸術家たちによる表現が融合したお祭りです。屋外で、つまりはトミスラヴ王広場にある牧歌的な公園において、コンサートが開かれます。そこには、クラシック音楽や娯楽音楽のスターたちや、交響楽団やジャズ・オーケストラが演奏を行い、またオペラが上演されるとともに、古い映画が上映され、さらには開かれた空間、別言すれば公園の非常に美しい芝生の上に滞在する素晴らしい機会が提供されます。



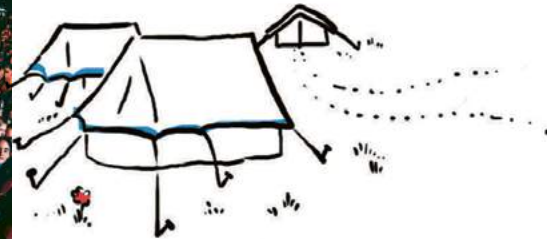
世界的な名声

毎年4000人を超える音楽愛好者たちがインミュージック・フェスティバルを訪れ、彼らは世界にある全大陸から来場します。



インミュージック・フェスティバル

インミュージック・フェスティバルはクロアチア最大の屋外で行われる祭典で、数回にわたって重要メディアにより、必ず行くべき世界の祭典の一つとして取り上げられました。祭典は、6月にヤルン湖に浮かぶ3つの島の上で開催され、3日間続きます。そして、人々は開催期間の数日の間キャンプで寝泊まりします。何とも言えない素晴らしい雰囲気と、喜んでこの祭典へとやってくる音楽会の世界的スターたちの演奏以外にも、祭典の組織者たちは常日頃から、森の中に隠されたステージに代表される何か特別な設備を作る、あるいはテスラの塔のようなとも見ごたえのある見世物を造る努力を怠りません。



ザグレブの顔

ザグレブのタイムマシーンが開催されている間、あなたは街の広場で人気の女流作家で、クロアチアで初の女性新聞記者でもあったマリヤ・ユリッチ・ザゴルカ、あるいはクロアチアの詩人にして短編小説家であったアントゥン・グスタフ・マトシュと出会うでしょう。



ザグレブのタイムマシーン

このプロジェクトの一環として、4月末から10月初旬にかけて、毎週街のいたる所で、数多くの音楽やダンス、そしてその他さまざまなイベントが開かれます。このイベントは、ザグレブやその近隣地域において昔から維持されている風習を思い出すことを目的に開かれます。伝統衣装を着たドラツ市場のクミツア、ズリニェヴァツの歩道で開催されるコンサート、クラヴァト連隊に所属する護衛兵の交代式から、あなたが何度も街の中で遭遇するであろう民族衣装に身を包んだ人物にいたるまで、ザグレブのタイムマシーンによって、あなたは過去の時代へとタイムスリップし、古い習慣や美しい記憶に出会うでしょう。

光の祭典

この光の祭典は10月に開催されます。この興味深い企画が行われている間は、その時のためだけに芸術家たちが作成した装置を用い、街の特定の地区が光で照らされ、そして、忘れがたい光景やとつもない可能性を秘めた光景が目前に広がります。光の多彩さにより、その時にはその空間は大変美しいものとなります。また、ここでは空間そのもの、通行人と地元の住人たちが織り成す活気に満ちた光景が繰り広げられます。

オープン広場の日

ザグレブの大広場に1日だけ様々な文化や教育のブースが出店されます。この日にザグレブに秋の季節がやってきます。広場は大きなステージになって、沢山の文化のイベントが行われます、クロアチア国立劇場のバレエ、オペラ、ドラマの劇を楽しめます。





バル・・・バルタザル!

アニメーションシリーズ「バルタザル教授」は、ザグレブアニメーション学校による最も有名な企画です。放映権は、世界の30もの国で購入されています。



アニメフェスト

この祭典は、ザグレブアニメーション学校と同校が1950年代から1960年代にかけて積み重ねてきた業績を大いに称えるという目的から、早くも1972年に創設されました。祭典は、偶数年には短編映画、奇数年には長編映画にそれぞれ特化して開催されます。そして、ザグレブの観衆は毎年6月になると、偶数年と奇数年の違いに関係なく、喜んでこれら二つの祭典を見に行きます。



ザグレブファンタジー映画祭

夏に開催されるこの祭典は、映画愛好家とファンタジーやそれに関連するジャンルを愛する人々を楽しませます。しかし、魅力的で興味深いタイトルの映画が集められているという理由だけではなく、祭典はまた壮麗なメドヴェドニツァにあるお城のような野外にある場所で映画を上映することで有名です。

破壊的映画祭り

この祭典で主に扱われるのは、常に重要な政治的、経済的、文化的、芸術的、そして人道主義をテーマにした映画です。この祭典は5月に開催され、また受賞作となる映画の選考とともに、多くの興味深い講演会や円卓会議が開催されます。

ザグレブドックス

ザグレブドックスは、ヨーロッパのこの地域で開催される最も大きなドキュメンタリーフィルムに特化した国際映画祭です。しかし、それだけではなく、この祭典は、人々が意見交換を行い、また自分たちの経験を共有できる素晴らしい場となっています。開放的で想像力に満ちた雰囲気によって、会話が弾み、そしてザグレブドックスではまた新たなアイデアや企画が多く生み出され、ドキュメンタリーフィルムのワークショップや映画の構想に関するプレゼンテーション、ならびにドキュメンタリーフィルムに関するパネルディスカッションなど、この映画の形式に関心を持つすべての人々が参加可能な数多くの機会が設けられています。この祭典は、毎年2月末あるいは3月1日に開かれます。



金の手押し車

ザグレブ映画祭での最優秀作品賞の関係者に贈られる象徴である「金の手押し車」は、ロシア映画の最高傑作である「軍艦ポチョムキン」から着想を得たものです。



ザグレブ映画祭

毎年秋に行われる祭典の中で、誰もがその開催を待ち望むものの一つが有名なザグレブ映画祭です。この祭典は、映画愛好家だけではなく、上質の娯楽を探し求めている人々にとっても魅力的なものとなっています。イベントの中心となっているのは、あくまで映画です。映画のコンクールとしての性格を持っているメインプログラムだけではなく、そこではまた映画に関する書籍や映画製作に必要な新しい技術機器のプロモーションなども含むサブ・プログラムも充実しています。映画が上演され、世界の映画に関するニュース・リリースが行われたのちには、祭典の会場は自然と大規模なパーティー会場へと姿を変えます。





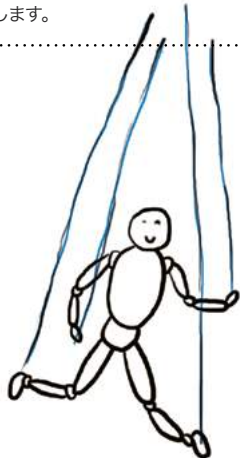
観光客たちはツアーの最中に、著名なクロアチアの女流作家であるマリヤ・ユリッチ・ザゴルカ本人や彼女の小説に出てくる登場人物たち、そして劇を上演しながら農民反乱とマテヤ・グベツの伝説について説明することになる俳優たちの一団と出会うことになるでしょう。

グリチュの秘密

このとても雰囲気がよく人々と直に触れ合えるドラマチックな夜のツアーは、ザグレブ市民やザグレブを訪れるすべての観光客たちの間で非常に人気を博すようになりました。そして、このツアーは興味深いザグレブ観光のやり方です。ツアーは夏にアップタウンで行われ、ツアー参加者たちの印象によく残る方法で、ザグレブの歴史、街にまつわる秘話、秘密のロマンスとその舞台裏を説明します。また、このツアーはクロアチア語だけでなく、英語でも行われます。

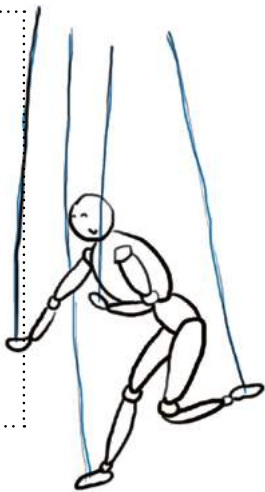
クロアチアジャズフェスティヴァル

ジャズフェスタは、クロアチアのジャズシーンで行われていた数多くのイベントが統合されて生まれた祭典です。そして、現在では、この祭典は秋と春の変わり目を間、充実しなおかつ活気に満ちた、充実しなおかつ活気に満ちた内容のプログラムを提供します。そして現在では秋や春に季節が変わる時に、充実しなおかつ活気に満ちた内容のイベントを提供し、訪問者たちには国内外の演奏家たちを紹介しします。



PIF 操り人形演劇の世界的祭典

この祭典は、元々はエスペラント主義者たちによって創設され、はじめのころはエスペラント語関連のイベントでしたが、現在では幅広く操り人形芸術を紹介するための特別な場となっています。そこでは、毎年九月に、世界中からやって来た操り人形芸術家の一座が上演会を行います。祭典の副次プログラムの一環として、操り人形芸術の専門家によるシンポジウム、操り人形の展示会や操り人形芸術のワークショップ、そして人道主義を題材とした活劇が行われます。



金のピルエッタ

ザグレブで行われるこのフィギュアスケートの大会は、早くも1968年から開催されていて、世界最古の歴史を誇ります。大会は男女別の個人競技、ペアによる競技、そしてアイスダンスの各部門に別れて開催されます。部門に別れて開催されます。また、世界最高レベルのスケーターたちが常に人々に人気の高い回転ジャンプを披露します。

ハンジェゴヴィッチメモリアル

人々に人気のあるハンジェクは、早くも1958年以来国際的な陸上競技大会となり、そして1999年には国際陸上競技連盟公認の大会のひとつとなりました。2009年からは、ハンジェクは国際陸上競技連盟が主催するワールドチャレンジ競技会の一部となりました。それ以来、毎年夏の終わりになると、ハンジェクには世界の陸上会で最も優秀な選手たちが集まります。



ザグレブマラソン

第一回ザグレブマラソン大会は、1992年に開催されました。その時、無事に完走した競技者は、わずか70人だけでした。今日では、ザグレブマラソンに参加する人々の数は、数千にも登り、このマラソン大会はますます人気が高まっています。というのも、このマラソンで使われるコースは、スタート地点からゴールにいたるまでの全ルートにおける道の高低差がわずか5メートルしかなく、世界でもっとも早く完走できるコースのひとつとなっているからです。ルート全体が直線的に伸び、カーブが少ないため、ランナーたちは一定のテンポで走り、好成績をおさめることができるようになりました。ハーフマラソンも導入され、それによって、ザグレブマラソンはより多くの競技者たちの間で今まで以上に人気を博すようになりました。ザグレブマラソン大会は、毎年10月に開催されます。

雪の女王

世界スキー大会の回転滑降レースは、2005年からメドヴェドニツァ山の頂上であるスリエメンで開催されるようになり、そしてそれ以来、毎年一月にはますます多くのクロアチア国内および全世界からやって来たスキーヤーや訪問者たちを魅了するようになってきました。このレースは、首都のすぐ近くで行われるという点で、他に例を見ません。のみならず、この大会は世界で唯一優勝者に完全に人の手で作られた冠を贈呈し、これも世界でも大変珍しい大会と言われる所以です。

レースの名称は、伝説的な女性スキーヤーであるアニツァ・コステリッチの栄誉にちなんでつけられました。彼女は、兄であるイヴィツァ・コステリッチとともに歴史上最も高いアルペンスキーヤーであり、まさにメドヴェドニツァ山でスキーヤーとしての最初のステップを踏み出しました。



ザグレブの降臨祭



スケート

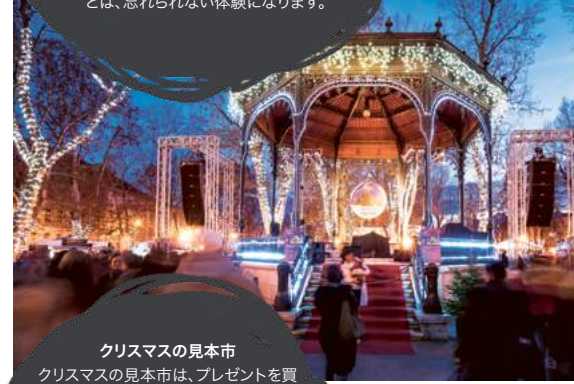
ザグレブでは、人気のある冬のアクティビティが真面目に考えられています。トミスラヴ王広場にある氷の公園は、12月になるとすべての市民たちにとってお気に入りの場所となっています。



ザグレブにおける降臨祭は、降臨祭の開始の合図となる一本のろうそくに灯がともされることで始まります。そして、ホットワインの香りが漂うなど、楽しげな光景が街の広場に広がり始めます。周辺の通りや広場では、ザグレブを訪れる人々は、多数のクリスマスの見本市のスタンドで、品数豊富なクロアチア料理や世界の料理を楽しむことができます。

雪のズリニェヴァツ

街のアマチュア合唱団が音楽パヴィリオンで歌うクリスマスキャロルを聴くことは、特別な経験です。降臨祭の間中は伝統的な食べ物や飲み物を出す出店が多く立ち並び公園内ある雪で覆われたプラタナスの木々を見ることは、忘れられない体験になります。



クリスマスの見本市

クリスマスの見本市は、プレゼントを買うのには最適な場所です。祝日用の特別な品物以外にも、さまざまな工芸品、有名な赤いハートや伝統的なジンジャーブレッド、そしてそれ以外のたくさんのお土産が見つかります。これらの品物は、ザグレブでしか手に入りません。



街の大聖堂の前では、観光客たちは「生きたキリスト生誕の図」を目にすることができます。また、街の中心にあるどの広場にも、それぞれに特別な見所があります。ズリニェヴァツでは、ワルツと聖歌隊の合唱を堪能することができます。また、トミスラヴ王広場では、スケートリンクを併設した氷の公園を楽しむことができます。毎年、ザグレブでは降臨祭の物語は序章から筋書きを書き換えられます。というのも、降臨祭の間中には毎回なにかしらの新しく予想外の出来事が起こり、どの通りが降臨祭期間中の牧歌的な外出先になるかは決して誰にもわからないからです。

冬のファストフードの軽食

冬のザグレブでは、歩きながら食べられるファストフードの軽食が非常に数多く取り揃えられています。街角のいたるところから、フリッターやソーセージのおいが漂ってきます。まあ、ホットワインには、体力を回復させてくれるだけでなく、凍えた手の指を暖めてくれます。



食事と飲み物

いつも瞬く間に
過ぎていく時の
ために

ザグレブについて
っと知りましょう。



食べ物と飲み物はとても重要なものであり、私たちもそれらについては妥協せず紹介したいと思います。レストラン、ファストフード店、カフェやバーの豊富な選択肢が用意されています。そのため、どのお店に行くかを非常に迷います。その悩みは、うれしいこともあり、少しつらいこともあります。また、おそらく、辛い悩みであることもあります。しかし、毎日新たな悩みが生まれます。

ドラツ

街の行政当局が歴史的な場所に新たな街の市場を開設した時、この市場がすぐに昼食用の新鮮な食品を探す人や、ただ新しいゴシップネタを探しにやって来る人たちが集まる人気の場所になると想像できた人は一人もいませんでした。ドラツはその当初は、街とその近郊を結び、またそこで商品を売る人たちは主に近隣の村で栽培された生産物を販売する場所でした。ドラツは、今日ではクロアチア全土の縮図であり、あなたは簡単にザゴリエ産のチーズやヴルフニェ、ネトヴァ渓谷で取れたオレンジ、ヴィス島で栽培されたレモン、イストリア産のオリーブ油、ザダル近郊で取れたさくらんぼ、スラヴォニア産の肉を見つけることができるでしょう。上にある市場の開かれた階では、売り手たちは皆、一目見てわかる伝統的な地方の飾りのある赤いバラッルの下にいます。ドラツから見て北側には、ペトリツァ・ケレンプ広場があり、そこでは花が売られています。

ザグレブのクミツァ

ドラツには、伝統的な女性の売り子である「クミツァ」の像があります。彼女は、街の近郊から毎日市場にやって来て、ザグレブ市民たちに新鮮な果物や野菜、乳製品を販売していました。新鮮なチーズやヴルフニェ、自宅で作った玉子、とうもろこしの粉で作られたパン、その他女性が持っていた大型の手提げ袋の中に入っていた商品は、日常的にザグレブ市民たちの食卓にのせられていました。



ザグレブは、他のすべての大都市と同じように、その近郊だけではなく、遠方も含めてあらゆる地域からの移住者を受け入れ、またそれらの地域からの影響を受けてきました。ドイツ語の単語は、中央ヨーロッパ的な料理の伝統の影響を受けていることを表す証拠です。しかし、ザグレブでは地中海地方や東方にルーツをもつ料理が非常に多く食べられています。もちろん、国内の諸地方からの影響が混じりあった料理もあります。ザグレブはさまざまな美味しい料理を食べられる大都市であり、そして、あなたは、前菜のことを気にせずに、自分の食べたい料理を選ぶことができます。インターナショナル料理、エスニック料理、多国籍料理、高級料理や屋台料理、あなたはいつでもこれらを自由に食べることができます。しかし、もしあなたが、ザグレブ市民たちが特別な時に食べる料理や、家族の間で代々作られてきた料理をお試しになりたいのであれば、私たちは、昔から受け継がれてきた伝統的な料理をいくつかおすすめします。



市場

ザグレブ市民たちは皆、市場に出掛けるのが好きです。そして、ザグレブには25もの地区の市場があります。それらの市場では、クロアチア全土から集められた新鮮な生産物を簡単に見つけることができます。



グリンツァイグ

ザグレブ料理の基本的な食材の一つであり、また澄んだスープを作る際に最初に必要な材料であるグリンツァイグは、間違いなく街の市場で最も売れ行きの良い商品でもあります。このグリンツァイグとは、ニンジン、パセリ、セロリとキャベツを紐で一つに束ねたものです。そして、このグリンツァイグを使えば、他では見られない地元ならではの、あるいは家庭的な味を付けることができます。



パスタを添えた七面鳥

祝日に食べられるこの伝統的な料理を作る際の秘訣は、七面鳥を低温でじっくりと焼き、そして肉汁を残すために肉をこまめにひっくり返すことです。パスタは、ザグレブ地域内の多くの場所で見られる特有の付け合わせです。このパスタは、主に七面鳥やニワトリ、アヒルなど家禽類の料理の付け合わせとして出されます。このパスタの材料は小麦粉、塩と水ですが、多くの人たちは乾燥したパスタを買ってきて、熱湯と肉汁に浸して戻して使います。



リンゴのシュトゥドル

ザグレブにある多くの家からは、この何世紀もの歴史をもつ伝統的なデザートのおいしく漂ってきます。このデザートの材料は、薄く伸ばした生地に、すりおろしたりんごです。お好みで、シナモンとラム酒、その他秘伝の材料を加えます。

ザグレブとその近郊にあるワイン街道

ザグレブ市とその近郊には、バッカスの飲み物を愛するすべての人々やその専門家たちを魅了する有名なワイン街道があります。しかし、ザグレブにあるブドウ園の一つをちょうど街の中心でも発見できることはありません。そのブドウ園はラディッチ通りとトカルチッチ通りの間にあります。ザグレブのワイン街道は、街の東側、つまりゴルニェ・ドゥブラヴァからセスヴェテまでの一帯にあります。その場所まで歩きか車で出かけていく価値があるにもかかわらず、そのことは旅行者たちにはあまり認識されていません。ザグレブ近郊のワイン街道(サムボル、プレブレシヴィツァおよびゼリンスカのワイン街道)は長期にわたってワインリストに加えられ、日帰り旅行の行き先としては理想的な場所です。

マルティニェ

ザグレブ近郊にあるブドウ園やそのコテージ、そしてワインセラーは、新酒のワインの完成を祝う祝祭であるマルティニェが開催されているときに、とりわけ活気に満ちています。しかし、それらのワイン関連の施設は、気忙しい街から完全に離れ、価値ある地方のブドウ園で自家製のワインを味わいながらリラックスできる機会を常に提供しているため、一年を通じて行くに値する場所のひとつとなっています。



シュトルクリ

シュトルクリは場合に応じてアレンジが利く料理で、塩味をつけたり甘く味付けしたり、茹でたり焼いたり様々な味付けや調理法が可能です。シュトルクリはいろいろな果物や野菜を加えて調理され、前菜として出されることもあればメインディッシュにもデザートにもなり、場合によってはスープの具材にさえ使われます。この多くの人々を魅了してやまない料理は、薄く引き伸ばされた生地、チーズ、ヴルフニェと卵から作られますが、一番よく出されるのは、チーズを具材とした塩味のシュトルクリです。

ストリートフード祭り

ストリートフードの愛好者たちは、ザグレブにいるときに、まるで実際に自分の家にいるような感情を持ちます。一年を通して大衆的なファストフードのスタンドで食べられる一般的なストリートフード以外にも、ザグレブはまた公園の芝生や小さなベンチに座って肩ひじ張らず気軽に食べることができる高品質で美味しい料理を提供する通りでの祭典を数回にわたって開催しました。もしあなたが異国情緒あふれる味や食べ物、伝統的な料理を求めている、あるいは映画の野外上演会も行われる料理のお祭りや映画祭が一体化した祭典に参加するという他では味わえない体験をしたいのであれば、あなたは絶対にこうしたザグレブで企画される祭典に行きたくなくなるでしょう。



チーズとヴルフニェ

チーズとヴルフニェは、ザグレブ近郊の村で作られた伝統的な製品で、すでに数世紀にわたってザグレブ市民たちの食卓に欠かせないものとなっています。これらチーズとヴルフニェは、新鮮な旬の様々な食品と一緒に食べますが、それらの食品は季節や場合によって変わります。多くの家族はまた、市場でどの「クミツァ」から乳製品を購入するかを決めており、彼らは彼女のところで新鮮な牛の乳で作られたチーズとヴルフニェを買い、売り子である女性の名前を憶えておきます。そして、そのため、その家族たちは数世代にわたって同じ生産者の一族からチーズやヴルフニェを購入することも多いです。

クラフトビール製造の伝統

ザグレブには、長いビール造りの伝統があります。そして今日では、いくつかの大規模で名の通ったビール醸造所に加えて、クラフトビールを製造する小規模なビール醸造所が多数あります。これらの小さな醸造所は、ザグレブのビール職人が今まで培ってきた伝統を尊重する気持ちと、なおかつ一杯のビールによって作り出される瞬間への愛情を持ち合わせながらビールを作っています。



「コーヒーを飲みに行きましょう！」

ザグレブ市民たちにとってお気に入りの温かい飲み物は、間違いなくコーヒーです。一杯のコーヒーを飲むことは、友人と会う際の社交的な儀式となっています。そして、一杯のコーヒーを飲んでリフレッシュできる場所は道筋のいたる所にあります。「コーヒーを飲みに行きましょう」という言い回しは、コーヒー以外の飲み物を飲みながら集まるときにも暗に使われるほど、よく使用されています。



レストランの選択

美味しい料理は、街の人々が好む話題の一つです。美味しいものが食べられるレストランに関する情報、とりわけ値段が良心的で質の高い料理が味わえるお店に関する情報は、瞬間に人々の間に伝わります。伝わる情報の中身は日々より充実したものとなり、また話題とされるレストランの数も、具体的な料理の見た目や、クロアチア料理、多国籍料理あるいは外国料理といった出される料理の種類などの詳細を伴う形でますます増加しています。



ショッピングと娯楽 あなた自身が身に 着ける小さなザグレブの一部



ザグレブについてもっと知りましょう。



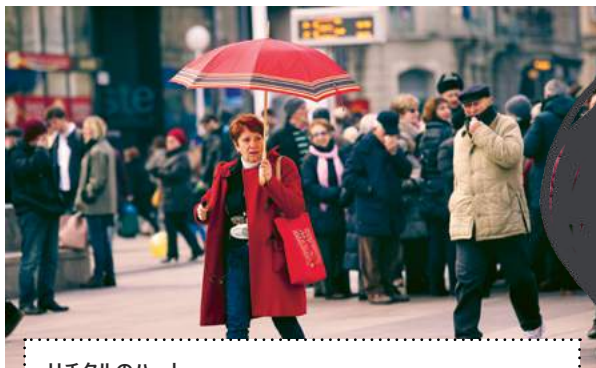
昼夜を問わずに快適に時を過ごすことのできる場所という観点からいえば、ザグレブは年々層豊かで、開放的でそこにしかないものを提供できる街になっています。また、街の中の中心地から離れた区域はヨーロッパのこの地域で最も人々の関心を引く地域の仲間入りを果たしています。また、街は実用的な品物や人を楽しませる商品、地元発祥の製品を購入できる多くの機会を提供しています。そして地域特有の商品を購入する場所を提供しています。お土産を買わずに、ザグレブから去ることはできません。



ペンカーラ

エドゥアルド・スラヴォリユブ・ペンカーラは、1906年に自身の最も有名な発明品であるシャープペンシル、さらに1907年には万年筆に関する特許を取得しました。そして、彼は世界で最も有名なクロアチア製品のひとつを作り出した業績により、自身とザグレブの街に世界的な名声をもたらしました。

クロアチア人デザイナーが作ったお土産
地元のデザイナーや女流デザイナーたちは、現在の流行について話し合いながらも、すでに数年間にわたって、新たなお土産を作り出す作業に取り組んでいます。彼らは、革新的かつ魅力的な手法で、一目見れば現地での体験が伝わり、また買ったお客さんが思い出を残せる商品を発案します。ザグレブでは、型通りで商売目当ての製品とは全く異なる、味わい深く、値段も良心的でザグレブでしか買えない特別な商品を取り揃えたお店がいくつかあります。それらの商品を見れば、ザグレブを訪れた人々は、そうした商品を購入すれば、街のことをさらに長い期間かつ鮮明に記憶するでしょう。



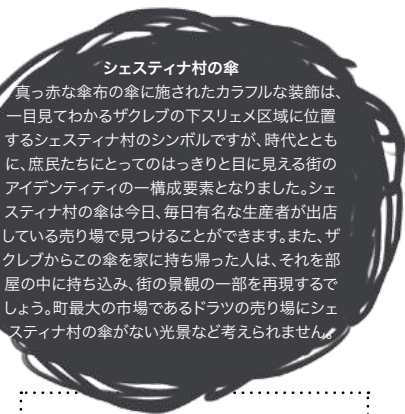
リチタルのハート

おそらくは最も有名なザグレブの伝統的なお土産である色鮮やかなハートは、かつては友情と親愛の証としてプレゼントされていました。今日では、このハートは、その原型をいくらかとどめながら、装飾品として使われます。そして、ハート作りの伝統はユネスコの無形文化財にも登録されています。



ネクタイ

ネクタイが世界中の人々の間で人気を博するようになったのは、フランスの上流階級のお陰であることは確かです。しかし、世界ではじめてネクタイの存在が知られるようになったきっかけは30年戦争で、ちょうどこの戦争に参加していたクロアチア兵士たちが軍服の一部として身に付けていたネクタイが人々の目にとまりました。この話からすれば、この上品な絹から作られたアクセサリーの歴史は、17世紀にまで遡ります。ネクタイを意味するフランス語の単語であるクラヴァットの語源は、クロアチア人を意味する名詞(クロアテ)です。その語源としています。クロアチアでは、ネクタイのデザインは百種類を数え、そうしたデザインが施された高品質のネクタイを見つけることができます。これらのネクタイはまた、絶対に購入するべきお土産です。



シェスティナ村の傘

真っ赤な傘布の傘に施されたカラフルな装飾は、一目見てわかるザグレブの下スリエム区域に位置するシェスティナ村のシンボルですが、時代とともに、庶民たちにとってのはっきりと目に見える街のアイデンティティの一構成要素となりました。シェスティナ村の傘は今日、毎日有名な生産者が出店している売り場で見つけることができます。また、ザグレブからこの傘を家に持ち帰った人は、それを部屋の中に持ち込み、街の景観の一部を再現しましょう。町最大の市場であるドラツの売り場にシェスティナ村の傘がない光景など考えられません。

パブレニャク

この伝統的な胡椒の効いたビスケットは、甘味と辛みが混じりあった独特のお菓子です。このビスケットは、クロアチアの文学者であるアウグスト・シェノアによって書かれた歴史小説「宝石店の金」の中では、ザグレブ市民たちが昔から食べていたお菓子として登場しています。そして、このお菓子は、今日では多くの商店やお土産物やさんの棚に置かれています。



若きファッションデザイナー

ザグレブのデザインシーンはすべての人々を興奮させるものです。そして、まだ有名ではないものの、その名前をぜひ覚えておきたいデザイナーたちが常に生まれています。若手の服飾デザイナーや女装服飾デザイナーたちは、独創的な精神に基づいて設計された自身の製品だけを扱うお店で、お客さんたちに自分たちのコレクションを披露しています。一般に出回っているものとは異なる洋服や日用品を探している人は、もしこうした場所を調べれば、無事に目的を果たすことができるでしょう。



ザグレブの手工業

ザグレブには、伝統的な手工業が数多く存在します。その工場は、より質の高い手作りの製品を作ろうと競い合っています。街の中心にある小さな工房では、そこでしか買えない革靴や革製のベルト、革製の靴や、オーダーメイドのスーツや長期間被ることのできる仕立てられた帽子を購入することができます。これらの商品は、1度買えば、何年も私たちの洋服筆筒にしまい、身に付けることができます。通りを歩いていけば、あなたは靴職人、帽子職人や仕立て職人の工房だけでなく、工芸芸術家や近代工芸家のアトリエを見つけるでしょう。そこであなたが目にする商品には、それぞれその商品ならではの個性があります。



ショッピングセンター

ザグレブのショッピングセンターは、街全域の重要な場所にあり、住人たちはそこで必要なものをすべて揃えることができます。また、観光客たちはその便利さと品ぞろえの豊富さに魅了されます。



屋外での娯楽

春と夏の数ヶ月間、ザグレブ市民たちだけではなく、多数の旅行者たちも、街の中心にある多くの緑溢れる場所で時を過ごすことを好みます。彼らは、人気のある小さな土手の上に友達と集まるか、草地に敷いた毛布の上に寝転びます。加えて、ザグレブでは音楽や料理に関連したイベントが多数開催され、またどこでも飲み物を飲むことや、人気上昇中の地元のバンドが奏でる音楽を聴くことができるという印象を受けます。

クラブとオルタナティブミュージックシーン

ザグレブのオルタナティブミュージックシーンは、前世紀の70年代後半から続く長い歴史を持ち、近年においても常にその規模は大きくなっています。ザグレブでは、コンサートやパーティーその他のイベントが多数開かれます。それらのイベントは、いくつかの会場で開催されますが、そこでは、活気に満ち、そこにいる人たちが一体化した雰囲気にあふれています。一般には、クラブでの活動はすでに数年にわたって規模を拡大し、どのクラブでも素晴らしいポップ音楽やエレクトロニック音楽を聴くことができます。パーティーを目当てに来る人から何よりも音楽そのものに興味がある人まで、すべての人がその場を楽しみます。



カフェとバー

昔から街の中心にある店は、ザグレブ市内において、夜間にもきれいに整えられたインテリアが並べられた席やテラス席をお客さんに提供することで繁盛してきました。これらのお店では飲み物の種類が豊富で、それを目当てに観光客たちが来店します。

芸術と娯楽の融合

さまざまな種類の文化的な創作活動は常に融合しています。ザグレブでは特に、そのことは、博物館-美術館による展示と夜間音楽会、娯楽そして教育関係の催し物が一体化された催し物のプログラムを見ればはっきりとわかります。その計画を立てる過程で、イベントを通年使用できる会場で行うのか、あるいは一時的に空いている場所で開催するのか、それとも屋外で開くのが問題となる可能性はあります。しかし、重要なのは、その場で想像力と多様性に満ちたリズムが刻まれることだけです。落ち着いた雰囲気の中で若手の女流彫刻家や概念芸術家の展示会が行われた後に、あなたは同じ場所でパーティーが始まるのを待つのです。



子供のための ザグレブ 大きな可能性 を秘める街

動物園

マクシミル公園にある動物園は早くも1925年に開園し、南東ヨーロッパで一番古い歴史を持っています。開園時には、二匹のフクロウと3匹のキツネしかいませんでしたが、今日動物園には全大陸から集められた300種類の動物がいます。動物以外にも、動物園は充実した教育プログラムを提供します。このプログラムを通じて、子供たちは自然全般に対する前向きな態度、生物学や自然保護にかんする知識を身につけます。



常に喜んでザグレブを再度訪問する人たちの中には、最も若い子供たちも含まれています。なぜでしょう？この質問に対する答えは、街全体に公園、子供向けの運動場や遊べる場所がたくさんあるからです。ザグレブはまた、より多くのイベントを計画し、子供たちに楽しんでもらえる状況を整えています。子供向けの博物館、多数の子供用の劇場、そしてその他赤ちゃん（だけでなく、それよりも年齢が上の子も）にも楽しんでもらえる充実した子供向けの博物館、多くの子供向けの劇場、そして小さなお子さんを対象とした様々な取組により、ザグレブは子供にやさしい旅行地として地図に描かれるのです。

ザグレブについても
っと知りましょう。





子供向けの劇場

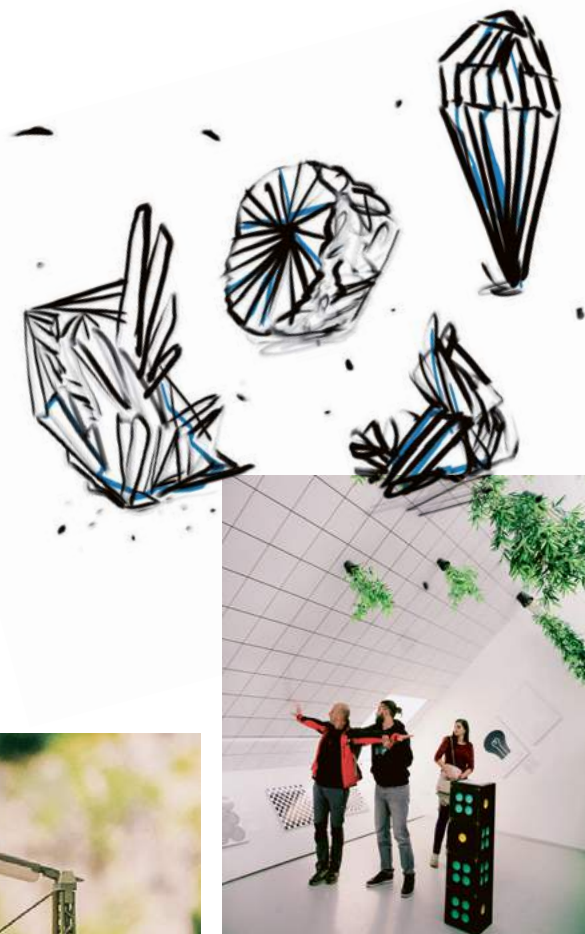
ザグレブにおける子供向けの劇場の歴史は古く、興味深いものです。ザグレブには、親と一緒に、あるいは生徒たちのために計画された通常の郊外活動の一環として出掛けるなど、そうした子供向けの劇場に行ったときのことを全く覚えていないという子供はいません。ザグレブの子供向けの劇場は、街のいたるところにあります。そのため、街に住む子供たちは皆簡単に劇場に行くことができます。もちろん、常に興味深いプログラムも根強い人気の秘密です。劇場では、子供たちが想像力を働かせ、彼らの独創性を駆り立てるさまざまな分野を調査し、それが反映された素晴らしい劇が上演されます。

プラネタリウム

天文学愛好家や自身の視野を広げたいすべての人にとって、ザグレブのプラネタリウムは是非とも訪れてほしい場所です。このゼウスのプラネタリウムは、ザグレブ・ニコラ・テスラ科学技術博物館の一階にあり、1965年にオープンしました。

バツコのミニエクスプレス

このような形をした乗り物を愛する人たちの熱意と献身的な努力により、ザグレブは、100両以上の手作りの列車からなる南東ヨーロッパで最大の鉄道模型であると称えられています。全長1050メートルもの線路の建設が議論された時には、その時ばかりは、街全体がそれに賛同しました。



イリュージョン美術館

博物館でいままでとは異なる、そして現実離れた体験をしたければ、この博物館に行くことは素晴らしい選択です。ポイントが、現実の世界では平らであるべきものが斜めに、小さなものが大きく、そして博物館内で上にあるものがイリュージョンの世界では下に見えることです。「鏡の部屋」が作り出す終わりなき道で迷い、天井の上を歩き、遊戯室を訪ねてください。そこでは、観光客たちが、さまざまな謎解きやトリックに挑戦し、またいろいろなおもしろいゲームをしながら、年齢を忘れて遊び、競争し、そして学んでいます。

自然史博物館

子供たちは、この博物館が大好きです。常設展示場に並ぶたくさんの動物の剥製や、コレクションの一部を見て、彼らは自主的に学ぶことができます。博物館では、興味深いワークショップが行われ、そこで小さな子供たちは実際に遺伝子学や生物学の研究成果に触れながら、実際のDNAの研究についてみずから勉強し、また人体の仕組みについて自主的に学習します。博物館が提供するワークショップのいくつかには、修学前の子供たちも参加できます。



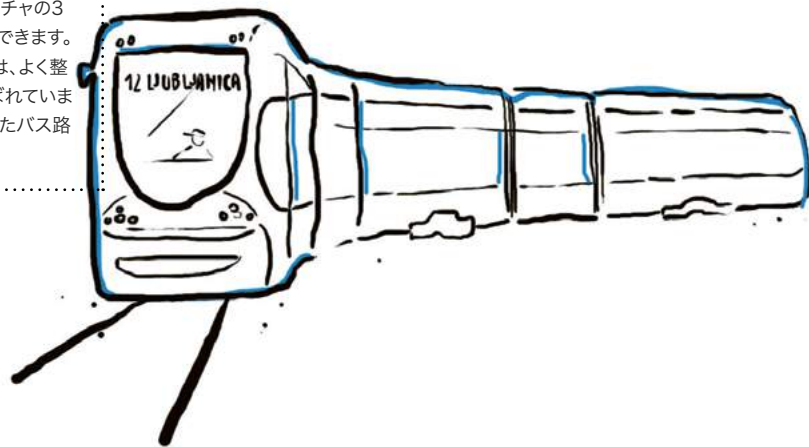
クロアチア学校博物館

この博物館は早くも1901年に開館し、体系的に過去から現在までのクロアチアにおける学校教育や教育方法に関する史料を収集、研究し、そして展示しています。観光客は、当時の授業方法や補助教材、学校の備品を見ることや、生徒たちにとって当時の教育はどのようなものであったかを想像することができます。そして、生徒たちが書き残したノートや製作した作品を見れば、観光客は自分たちの想像が正しかったかどうかを理解するでしょう。一年中、博物館ではたくさんのワークショップが開催されます。その場で、子供たちは興味深く楽しめるやり方で、勉強し、友達を作ります。

ザグレブ 24時間以内

公共交通

ザグレブの公共交通は、特徴的な青色をしているので、特徴的な青色をしているので、すぐにわかります。そして、旅行者たちはトラム、バスそしてウスピニャチャの3つの中からひとつを選ぶことができます。街の大半(特に街の中心部)は、よく整備されたトラムの路線網で結ばれています。他方、街の郊外では、充実したバス路線が各所を結んでいます。



どの交通手段を使ってザグレブに到着したかに関係なく、私たちはあなたにトラムを使ってザグレブを観光することをお勧めします。このトラムはもっともよく知られた街の象徴の一つであるだけでなく、非常に速くて利用しやすい街への移動手段です。加えて、ザグレブは人が快適に生活できるように配慮されて作られた街であり、街の中にある区域間であれば一時間以内に移動することが可能です。また、どの街の名所にも簡単にいくことができます。あなたは、自分の興味関心にしたがって、どこに行くかをきめられるだけでよいのです。そうすれば、私たちはあなたがそこに行けるようお手伝いします。あなたがザグレブに到着し1日しかそこに滞在できないとしても、がっかりしないで、その一日を可能な限り有効に使ってください。その時見に行けなかった名所については、次回見に行きましょう。

ザグレブについてもっと知りましょう。

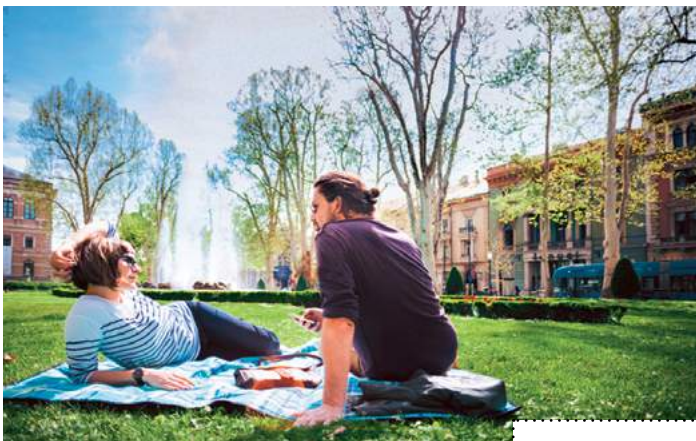


09.00 — 10.30

旅の出発点として最適の場所は、イエラチッチ広場です。広場の北側には、街の市場であるドラツがあり、広場の近くには、街の大聖堂もあります。大聖堂を見逃す心配はありません。その高さ105メートルの鐘楼は、あなたにとって確実な目印になるでしょう。大聖堂から北に向かっては、25もの聖堂参事会員たちの住居が整然と建ち並んでいます。それらの大半は、18世紀に建造されました。

10.30 — 12.00

魅力的な通りであるオパトヴィナ通りを歩きましょう。そこでは、コーヒーや地元のクラブトビールを飲んで休むことができます。そして、スカリンスカに沿って、人気のあるトカルチッチ通りまで下りましょう。トカルチッチ通りとラディッチ通りを結ぶフェルビンゲルの階段を見つけましょう。そうすれば、テラスのある小さなぶどう園を発見するでしょう。階段を昇れば、あなたは街のシンボルのひとつであり、アッパータウンへの入り口である石の門まで行くことができます。



12.00 — 14.00

アッパータウンは、どの方角から訪れても、魅力的な場所です。しかし、正午ちょうどにロトルシュチャクの塔にいるようにしましょう。そうすれば、この塔からは、有名なグリチュの大砲の音が聞こえて来でしょう。アッパータウンの中心は、聖マルコ広場です。しかし、ザグレブのこの地域に特別な魅力を与えているのは、魅力的な広場です。これらの広場は数世紀の間、もとの姿を保っていました。貴族の大邸宅をよく見て、そこにある非常に美しい中には堪能しましょう。

14.00 — 16.30

アッパータウンからは、ウスピニャツァが運行されています。このウスピニャツァに乗れば、あなたはザグレブで最も長い通りであるイリツァ通りまで降りられます。街のこの地区は、買い物や食事ができる場所がたくさんあることだけではなく、そこにある美しく高さが均一な建造物でも有名で、それらは大半が19世紀に建てられました。そこには、まるで街の大きなラウンジのようなベタル・プレラドヴィッチ広場があります(花の広場という呼び名の方が有名です)、テスラ通りとマサリク通り、たいへん多くのお店、カフェとレストランがあり、これらのカフェやレストランで休憩することができます。



16.30 — 19.00

クロアチア国立劇場、そしてその周辺の文化的および学術関連の施設は、有名なレヌチの蹄鉄へ出掛ける際の起点になります。このレヌチの蹄鉄はさらに、南方向にマジュラニッチ広場とマルリッチ広場を越えて植物園にまで続きます。植物園に沿って(あるいは植物園を通り)東に向かい、トミスラヴ王広場にある鉄道の中央駅へと行きましょう。この広場は、蹄鉄地域を代表する広場のひとつでもあります。その先にあるのは、シュトロスマイエル広場です。そして、そこからさらに進むと、一番美しい広場であり、またザグレブで最も美しい公園でもある人気のズリェヴアツへと至ります。そこには、非常に美しい噴水と音楽用のパピリオンがあります。



19.00 — ...

体を休める時間です。ちょうど街についてわかってきた今なら、これからどこで何を飲んだり食べたりするかを考えることができます。トカルチッチ通りにしますか、それともオパティヴァ通りかテスラ通りにしましょうか？

ザグレブ 72時間以内



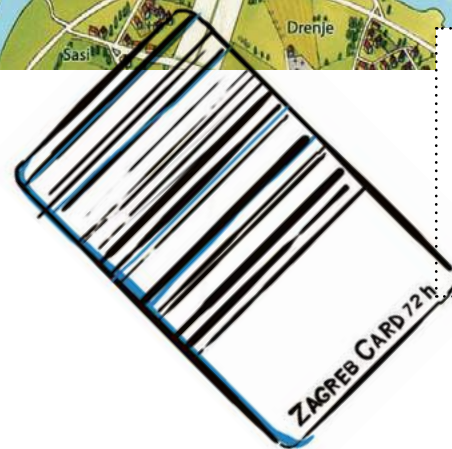
ザグレブについて
もっと知りましょう。



私たちは、街とザグレブの生活様式を楽しむためにも、最低でも3日間ザグレブに滞在することをお勧めします。その間に、あなたは名所を観光し、お気に入りのカフェを発見することができるし、またどのトラムの路線があなたの宿泊している場所を通っているかを把握するとともに、おそらくザグレブ近郊へと旅行することが可能です。ザグレブは、あなたにたくさんの旅の選択肢をご用意します。

ザグレブカード

ザグレブの街とその名所を十分に堪能しつつ、また同時に貴重なお金と時間をうまく使うためには、ザグレブカードがお勧めです。ザグレブカードがあれば、あなたは街の公共交通機関を無料で利用することや、入場料を払わずに街にある有名な観光スポットに入場することができるほか、レストランやお店、博物館、そしてそのほかあなたのザグレブでの体験をより充実させるであろう場所で多くの割引サービスを受けることが可能となります。



1日目ーザグレブの街を概観する

朝

一日の始まりである朝に行くべきスポットとして一番おすすめしたいのは、直接街の心臓の音が聞こえてくる場所、すなわちちょうど街の中心にあるドラツ市場です。活き活きと商売に励む人々たちを間近に見ながら、市場に隣接するたくさんのカフェの一つに腰を下ろし、焼きたてのペチヴォを食べ、温かいコーヒーを飲みましょう。そして、急いではいけません。それは、ザグレブの生活リズムに反することです。そのあとは、小じんまりとした街の中心部を散歩しながら時を過ごし、カプトル、オバトヴィナ通り、トカルチッチ通りを訪れ、アッパータウンを満喫しましょう。アッパータウンで迎える朝はいつでも非常に魅力的です。

街で飲むコーヒー

土曜日は、一杯のコーヒーを飲む人で最も街がにぎわう日です。しかし、あなたは、毎日街の中でザグレブ市民たちがコーヒーを飲んでいる光景を目にするでしょう。彼らは仕事中の休憩時間においてさえ、街の中でコーヒーを飲んでいるのです！

正午

ウスピニャッチャに乗れば、あなたは大都市特有の気忙しさを感じさせるダウンタウンに戻ります。しかし、心配することはありません。ザグレブにいれば、あなたは簡単に食事をとるか飲み物を飲んでリフレッシュできる魅力的な場所を多く発見するでしょう。ザグレブの先端を散策すれば、あなたは街のファッションのトレンドを把握し、また価値ある商品を購入できる機会が得られるでしょう。

午後

もし、あなたがさらに街の名所を観光したいのであれば、レヌチの蹄鉄にある広場を散策しましょう。それは、他では味わえない体験となります。その理由は、とりわけ、この区域には街にある最も素晴らしい博物館のいくつかが存在するからです。

夜

トカルチッチ通り、オバトヴィナ通りや周辺の広場を含めたベタル・ブレラドヴィッチ広場はカフェやレストランが非常に多く存在する区域です。時の流れに身を任せ、ザグレブでの最初の夜をご堪能ください。

どこへ外出しますか？

毎週、多くのカフェやバー、クラブではさまざまな音楽関係のプログラムが計画されます。これらのプログラムに関する情報入手する最も簡単な方法は、社交界が管理するインターネットのサイトにアクセスすることです。

2日目-街の中心の外へ

朝

朝起きたら、まずはあなたの宿泊先から最も近い場所で一杯のコーヒーを飲みましょう。ザグレブ市内のどの区域にも、あなたがこの心地よい朝の儀式を堪能できる興味深い場所がいくつかあります。



午後

街にかかる橋のどれかを超えてノヴィ・ザグレブ地区へと行き、街のこの地域についても知ってください。大きな建物の近代芸術博物館を訪れ、そしてそのあとには、ノヴィ・ザグレブのとても美しく大規模な公園であるブンデク公園を散歩しましょう。あるいは、近くにあるゴルフクラブへ行きましょう。このゴルフクラブは、ちょうどサヴァ川沿いにある広大なゴルフ場を所有しています。

正午

この時間帯には、散歩をするか自転車を借りましょう。街にある公園のうちのいくつかを訪れてみてください。公園がどこにあるかなど考える必要はありません。マクシミル公園、トゥシュカナツ公園、そしてその他の多くの公園が、常にあなたの近くにあります。

噴水

国立・大学図書館の反対側には、5つの噴水から構成されるモニュメントが建設されました。これらの噴水は、日中は水を噴射することで、そして夜は光を放つことによって、雰囲気的にも視覚的にもザグレブにあるこの区域に華やかさを与えます。

夜

夕食を食べて、一日を締めくくりましょう。ザグレブの夜を華やかに過ごしましょう。多数の軽食を出すお店から質の高い料理を出すレストランまで、選択肢はたくさん用意されています。ザグレブは、あなたを失望させません。

3日目-ザグレブ周辺地域からの最高の贈り物



ODLAZAK	DEPART	DEPARTURE
SATI	YEAR	BOJER
16:48	D.4x	SECIETE_NISA_CEL 0
16:44	D.4x	ZADDESTA_CRIKICV_MADNE_LUNDITON
16:55	D.4x	VADI_NIAP_NGHI_TMLDT_TEVN
16:57	D.4x	VBTSEHT_VADBITON_ACT_TCV
16:57	D.4x	QVCEKVECLITEN_METN_TMR
17:01	D.4x	ZADDESTA
17:04	D.4x	NISA_CEL_QVBTSEHT_PTEI_QIAD
17:17	D.4x	SECIETE_NISA_CEL 0
17:28	D.4x	TACTEBADSKVA_VADI_QIAD_MADALICE
17:28	D.4x	TM_LPHATICE_PEL_TEVITICE_CSTAN_DUT_PEL_LON

朝から夜まで

朝の一杯のコーヒーを飲んだ後(それは、いまあなたがザグレブにいる間の小さな伝統になりました)、あなたは街の近郊の探検へと出かけることができます。スリエマやサモボルなどの近場を行き先として選びたい、あるいはザグレブから車で1時間半のところにあるアドリア海の青く澄んだ水を見ることができる場所に行きたいなど、選択肢はあなたの望みと天候に応じて用意されています。あなたの近くには、魅力的な歴史ある小さな街や宮殿、庭園、考古学的な遺跡、自然公園、そしてユネスコの世界自然遺産があります。どうぞ、それらをご堪能ください。

プラットフォームからの出発
ザグレブ中央駅は、ちょうど街の中心にあります。トラムか市によって認可を受けているタクシーを利用すれば、駅まで行くことができます。

ザグレブの 周辺地域 ザグレブ近郊での 美しい思い出



プリトヴィツェ湖

クロアチアで最も美しい自然遺産の一つは、間違いなくプリトヴィツェです。プリトヴィツェは、とても美しい滝と青緑色をした湖で有名な国立公園です。詳細は、88ページをお読みください。

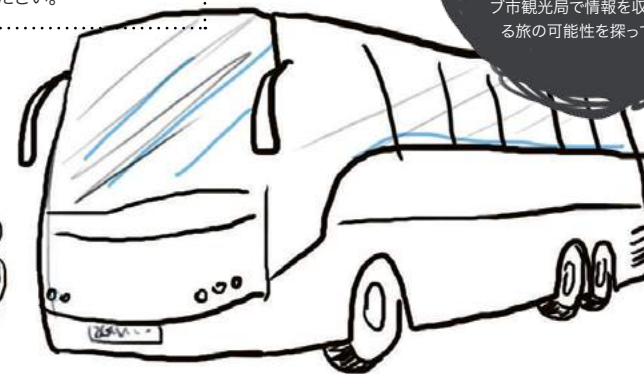
手配旅行

街の外にある目的地に出かける際には、独力で行くことも可能ですが、街に多数ある旅行代理店に手配してもらうこともできます。ザグレブ市観光局で情報を収集し、さらなる旅の可能性を探ってください。

ザグレブについてもっと知りましょう。



恵まれた地理的な位置もまたザグレブが持つ利点の一つです。山、川、湖、そして海まで、ザグレブの近郊にはあらゆる自然があります。また一方で、歴史を通じてザグレブの近郊でも素晴らしい遺産が守られてきました。私たちは、ザグレブ近郊にある遺産うちのいくつかをあなたに紹介します。時間があれば、それらの遺産を見に行ってください。それらの中にはその歴史が1世紀にも満たないものもあれば、100万年の歴史を持つものもあります。



ヴァラジュディン(87km/65分)

このバロック時代の名残が非常によく残る街は、その昔クロアチアの首都でした。その事実を思い起こさせるのが、街の中心にあるたくさんの貴族の大邸宅、そしてオスマン帝国の脅威にさらされていた時代に建設された要塞の跡が残る公園です。非常に美しい街の中心地には、大きな歩行者専用区域があり、そこには多数の名所があります。また、街はそこにある素晴らしい博物館、とりわけ興味深い演劇が上演されるクロアチア国立劇場、さらにはとても美しい公園でも有名です。ヴァラジュディンでは、8月に通りと通りにある名所のお祭りであるシュパニチヤール祭りが開催されます。



丘陵があって地形が緩やかで、とても美しいお城があり、そしてお客を手厚くもてなす農村の家族がいるザグレブの北にある地域は、そこにある文化遺産や種類の豊富な郷土料理を探索する旅へと誘います。



ヴェリキ・タボル(70km/72分)

この要塞化されたお城は15世紀に建設されました。今日城内には、修復作業の間に見られた芸術作品や美しいルネサンス期に作られた備品を含む博物館のコレクションがあおかれています。ヴェリキ・タボルは、短編映画に特化した伝統的なタボル映画祭の主催地です。



トラコシュチャン(80km/70分)

ザグレブから見て北西に位置するザゴリエはお城で有名ですが、その中で最も名を知られているのがトラシュコチャンです。トラシュコチャンはちょうど13世紀に丘の上に建てられた小さなお城でした。19世紀になると、ドラシュコヴィッチ家がこのお城を買い取り、ロマンティックなお城に改築しました。その下には、小さな湖とともに美しい森林公園があります。お城の内部の保存状態は非常に良く、その時代以来の様々な様式が入り混じった城内の構造を垣間見ることができます。

クラピナ(60km/50分)

ヨーロッパで最も多くのネアンデルタール人の骨が発見された場所の一つが小都市クラピナです。そこには、すでに30000年以上も前に野生動物たちが暮らし、クラピナの旧人類が狩りを行っていました。近代的で魅力的な建物のクラピナ旧人類博物館は実際に化石が見つかった場所であり、人々の興味をそそる方法で、ネアンデルタール人の生活様式を紹介しています。



温泉(50km - 115km/60分-100分)

この地方は、温泉と温泉旅行で有名です。最も新しく、また最も近代的な温泉は聖マルティン温泉です。この温泉は、ウォーターズライダーと1700平方メートルの温泉プールを備えたクロアチア最大の温泉複合型施設を所有しています。ザゴリエには有名な保養地があり、ヴァラジュディン、クラピナ、ストップそしてトゥヘル温泉には、名を知られた温泉施設があります。ここでは例外なく、休養をとるだけでなく、娯楽を楽しむこともできます。そのため、これらの施設は家族にとっても子供にとっても理想的な場所です。ここでは温泉に入ったり、プールで泳いだりする以外にも、さまざまなスポーツをしたり、地元ならではの文化的な体験や美味しい料理を楽しむこともできます。

北

マリヤ・ビストリツァ (40km/50分)

この聖母マリアが祀られた人気の礼拝堂には、毎年千人の聖職者が巡礼に訪れます。しかし、聖職者以外の多くの人たちも、この地にある美しい自然と魅力的な環境を目当てに、この礼拝堂へとやって来ます。美しい雪の聖マリア教会には、幼いイエスを抱いた黒い聖母マリアの彫像があります。この彫像の歴史は、15世紀にまでさかのぼります。この時、トルコ人による侵略を恐れた地元の教区司祭がこの彫像を隠しました。そして、彼は隠し場所にたどり着く前に亡くなりました。彫像は、かなりあとになってから発見されました。というも、伝えられるところによれば、彫像はある日自ら光を放し、その時から人を治癒する力を回復したからです。



クムロヴェツ (60km/60分)

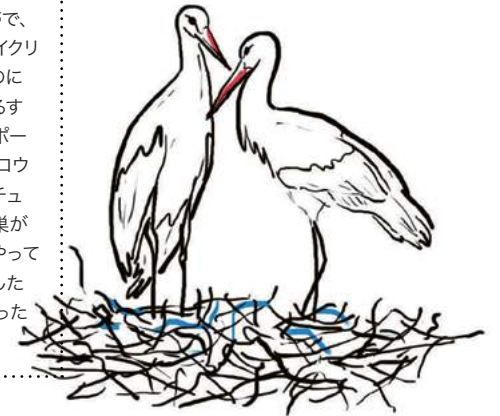
ヨシブ・ブロズ・チトー生誕の地であるクムロヴェツにあるスタロ・セロ博物館は、実物の民俗学のコレクションを屋外に展示している博物館です。そこには、19世紀に造られた藁ぶき屋根の家があり、家の中には日常生活で使われていたさまざまな物品やかつて農作業をする際に使用されていた道具が展示されています。あなたは、地元の職人から農村の技術について学ぶことになるでしょう。要望すれば、あなたはろくろ回しを体験できます。

東



ロニスコ・ポーリエ (116km/110分)

ロニスコ・ポーリエは、クロアチア最大の保護された湿地帯で、非常に多くの植物や動物が生息しているだけでなく、サイクリングを楽しんで美しい伝統的な木造家屋で一夜を過ごすのに最適な場所です。自然愛好家たちは、クロアチアに生息するすべてのシロコウノトリの3分の1が繁殖のためにロニスコ・ポーリエにやってくる4月から8月の時期を楽しみにしています。コウノトリがたくさんやってくることでもっと有名な村はチゴチュ村で、そこではどの煙突や柱にもコウノトリがいるか、その巣が作られています。コウノトリは4月の直前にチゴチュ村へとやってきます。そして、興味深いことに、以前この村で繁殖活動をしたコウノトリのつがいは最も高い確率でかつて自分たちが作った巣にもどってきます。



ザグレブの東側には、広大な平野や手つかずの自然が保たれている大規模な自然保護区に加えて、すでに古代から続くワイン造りの伝統が根付いている美しい丘陵地があります。

アンダウトニヤ (15km/26分)

現在は寂れた小さな農村であるシュチタリェヴォは、かつてはアンダウトニヤという古代ローマ時代の重要な都市でした。この都市は1世紀に、サヴァ川の渓谷にある通商ルートの合流点に建設されました。昔都市だった場所は、魅力的な考古学公園として整備されています。そこでは、観光客たちは舗装されたローマ時代の通りを散策し、かつての公衆浴場の建物内にある床暖房システムを見る機会を得ます。毎年4月の末になると、アンダウトニヤの日という古代ローマ時代の遺産をテーマとした行事が開催されます。この行事においては、実技を伴う考古学のワークショップに参加することや、ローマ時代の食べ物や飲み物を味わうことができるほか、子供のために行事の趣旨にちなんだ遊び場が用意され、子供たちはローマ時代のゲームをして競い合います。



ザグレブから南の地域では、山はより高くなり、森はより多くの木々で覆われ、自然もより美しくなります。また、風景は非常に魅力的です。湖、高い滝、そして、見た人が思わず息をのむほど美しい自然は、この地域が持つ豊かさの一部に過ぎません。

スルーニ(105km/95km)

自動車に乗り、高速道路を使ってザグレブからプリトヴィツェ国立公園へと向かう時には、スルーニで一休みしましょう。スルーニには、コラネ川の上にそびえたつ傾斜地にある小さな街です。ちょうど川沿いに、ラストケという場所があります。そこでは、川に沿って建てられたすべての水車が早いスルーニチツァ川の逆流によって、動かされています。観光客は、この場所で絵のように美しい迷路のような道と木製の小さな橋を通して散歩することができます。また、ちょうど川岸にあるレストランでは、新鮮なとれたての鱒を味わうことができます。周囲には激流の中でラフティングを楽しむことができる場所があるので、冒険好きな人たちは楽しい思いをすることができるでしょう。



プリトヴィツェ国立公園 (130km/120分)

プリトヴィツェ国立公園は、間違いなくクロアチアにおける最も美しい自然遺産の一つです。プリトヴィツェ国立公園は、その美しい滝と青緑色の湖で有名です。公園内には、ディナル山系では最も美しい原生林であるチョルコの森もあります。公園の入場券は、最も大きな湖であるプリトヴィツェ湖の両端を行き来する船に無料で乗る際や、公園の東側に沿って走る電動バスを利用する時の切符としても利用されます。この電動バスは、国立公園の二つのメインゲートの間を結んでいます。



プレシヴィツァ(45km/50分)

プレシヴィツァ村は、非常に美しい景観が広がる一面がブドウ園で覆われたなだらかな丘陵地に位置しています。また、村と同じ名前のこの地域全体が地元で生産されるワインで有名です。あなたはそのワインをその地にたくさんある家族経営の農園で一年を通じて味わうことができます。しかし、街が一番のにぎわいを見せるのは、フルーティーな味わいが特徴の赤ワインであるポルトゥギザツが飲めるようになる10月です。このワインは、新酒のうちに飲むのが一番おいしいです。

枢機卿の盆地

クラシッチはクブチナ川の盆地に位置する美しい場所で、その領域にはすでに青銅器時代から人が住んでいました。クラシッチでは、有名な枢機卿であるアロイシュ・ステピナツが人生で初めて自らミサを執り行いました。そして、その周囲の村々はさらに何人かの枢機卿と教会の高位官職者を輩出しました。そのため、この地域全体が枢機卿の盆地と呼ばれるようになりました。



サモボル(27km/30分)

サモボルは、クロアチアの内陸部において最も昔の面影を残している歴史ある小さな町の一つであると同時に、歴史的な手工業の中心地であり、またザグレブ市民たちのお気に入りの行楽地でもあります。ザグレブ市民たちは美術工芸品や民芸品よりも、美味しいクレムシュティナをお目当てにサモボルを訪れます。遠く離れた地域でも、サモボルは美味しいクレムシュティナが食べられる街として有名です。街がとりわけ人々の関心を集めるのは、ファシュニカ(2月の初めに行われる地元のカーニバル)が開催される期間です。この時期には、街の中央広場や周辺の通りが観光客と仮装した仮面をかぶったカーニバルの参加者で埋め尽くされます。



ザグレブから南西方向に向かって旅する時、1kmごとに景色が異なる景色が目飛び込んでくるでしょう。その景色は、プリシェヴィツァの丘陵地に始まり、ゴルスキ・コタルの針葉樹の密林を挟み、非常に美しい水の青いアドリア海で終わります。

リエカ(約160km/110分)

クロアチア第3の都市であり、クロアチアでもっとも重要な港として、リエカは賑やかな港湾都市の良さと快適に生活できる地中海地域の魅力を兼ね備えています。クロアチアの観光業の宝といえるオパティアは、このリエカから車でわずか50分のところにあります。オパティアは、早くも19世紀後半には、一年を通じて気候が穏やかなだけでなく、交通の便も良いことからその名が知られるようになり、オーストリア・ハンガリー帝国の貴族や富裕層の保養地となっていました。

クヴァルネルとゴルスキ・コタル

ザグレブから車で約1時間30分走れば、あなたはクヴァルネル、あるいはザグレブから最も近いところにあるクロアチアの沿岸地域へと到着します。そして、クヴァルネルまでの移動そのものが、あなた自身の貴重な体験となるでしょう。というのも、海まで行く時に、壮麗なゴルスキ・コタルを通るからです。ゴルスキ・コタルは非常に美しい森林と山に囲まれた地域で、多数の魅力的な農村があり、そして多くの習慣の中には他では見られない個性が見出されます。とりわけ、そうした個性は料理を見れば、よくわかります。しかし、少しでもアドリア海の青い水よりも美しいものを見なければ、ぜひともクルカ島やクレサ島、ロシニャ島などクヴァルネル群島の島々の景色を見ることをお勧めします。

宿泊施設 寝心地の良い ベッド以上のもの のを

ザグレブについても
っと知りましょう。



もっとも古いホテル
ザグレブで現存するもっとも古いホテルは、イェーガーホルン(イリツァ14)です。このホテルは、早くも1827年にオープンしました。



老舗ホテルからユースホステルまで

ザグレブでは、豪華な5つ星ホテルや国際的なホテルチェーンから個性あるホステルからさまざまな形態の個人経営の宿にいたるまで、あらゆる人の好みに対応できる選択肢が多数用意されています。長い伝統のある老舗ホテル、評判の良い小さなブティック・ホテルや高水準で質の高いサービスに関する独自のコンセプトを持つ他に例を見ないホステルは、宿泊客を魅了します。そして、これらの宿泊施設は街について知るための最良の出発点です。



役に立つ 情報



ザグレブへの行き方

ザグレブは、中央ヨーロッパや南東ヨーロッパおよびアドリア海の間にあるという恵まれた地理的な位置により、道と道とが交わる交通の要所となっています。ザグレブは、空路および陸路ともに、クロアチア国内の大都市や外国と密接に結びついています。空港は街の中心から約15km離れたところにあります。空港は、直通バスの路線やタクシーによって街の中心部とつながっています。鉄道中央駅は街の中央広場から歩いてわずか10分、トラムを使えば2駅のところにあります。街の中心のすぐ近くには、バスターミナルがあります。バスターミナルへもトラムを使えば簡単に行くことができます。

クロアチア共和国における査証制度

査証制度に関する情報については、外務省の公式ホームページを閲覧すれば、確認することができます。クロアチア外務省の公式ホームページ www.mvep.hr

フラニョ・トウジマン空港

インフォメーション：060 320 320
ホームページ：www.zagreb-airport.hr
スケジュール(空港—ザグレブバスターミナル)：
www.plesoprijevoz.hr

ザグレブバスターミナル

Avenija Marina Držića 4
インフォメーション：060 313 333
ホームページ：www.akz.hr

鉄道中央駅

Trg kralja Tomislava 12
インフォメーション：060 333 444
ホームページ：www.hzpp.hr

ザグレブカード

ザグレブカードには、有効期限が24時間のものと72時間のものの2種類があります。このザグレブカードがあれば、無料で街の公共交通機関を利用することや、6か所の町にある有名な観光名所に自由に入場することができるほか、70ものさまざまな施設で大幅な割引サービスを受けることも可能です。これらの施設の中には、多くの街の博物館、レストラン、商店その他さまざまなサービスを提供する場所が含まれています。より詳しい情報については、www.zagrebcard.comをご覧ください。

中央郵便局

Jurišićeva 13

電話：+385 166 26 452
(月曜日—金曜日 07.00-20.00; 土曜日 07.00-14.00)

Branimirova 4

電話：+ 385 149 81 550
(月曜日—日曜日 07.00-24.00)

会議の主催地

ザグレブはクロアチアにおける最も重要な会議の主催地であり、年々他の人気のある会議の開催地の間で確固たる地位を築き、ますます多くの会議、協議会や他のビジネスミーティングを誘致しています。ザグレブが会議を誘致する際に提示する主な利点の中でとくに強調されることは、さまざまな近代的な建物と魅力的な歴史的建造物の存在、素晴らしいホテルに宿泊でき、美味しい食事を食べ、実りある文化的な体験ができること、高度な専門知識を持つ人員がいること、ならびに町の美しさや快適に過ごせる街の雰囲気です。街の利点として最も重要なのが、各所に歩いていけることです。より詳細な情報については、以下のホームページをご覧ください。www.meetinzagreb.hr

通貨

公式通貨はクロアチア・クナです(HRK)。

剰余価格

貨幣 1, 2, 5, 10, 20, 50 Lipa; 1, 2, 5 Kuna

紙幣 10, 20, 50, 100, 200, 500, 1,000 Kuna

1 Kuna = 100 Lipa

両替は、両替所、銀行、郵便局、そしてホテルで可能です。大半のショッピングや飲食店では、クレジットカードでのお支払いも可能です。

公的な祝日

1月1日新年

1月6日救世主公現祭

イースター

イースターマンデー

5月1日メーデー

5月30日国家の日

聖体節

6月22日反ファシスト闘争記念日

8月5日戦勝記念日と感謝祭と退役軍人の日

8月15日聖母子被昇天祭

11月1日万世節

11月18日祖国戦争の犠牲者、ヴコヴァルとスキ

ャブルニャの犠牲者の追悼の日

12月25日クリスマス

12月26日聖ステイェバンの日

現地時間

グリニッジ標準時+1時間

公用語

クロアチア語

気候

ザグレブの気候は穏やかな大陸性気候で、四季の移り変わりがあります。夏の数ヶ月間は、気候はたいがい気温が高く乾燥しており、平均気温は20°Cから25°Cです。一方で、冬の数か月はほぼ気温が低く、平均気温は1°Cから5°Cです。一年のうち、最も暑い時期は7月と8月で、反対に一番寒いのは1月と2月です。

電圧

220ヴォルト、50ヘルツ

ヨーロッパ標準のアダプターです。

水

ザグレブでは、水道水は飲用可能です。

重要な電話番号

112 ヨーロッパ共通の救急番号

119 警察

193 消防

194 救急

11802 国際電話番号サービス

18981 一般情報サービス

08005353 ザグレブに関するツーリストインフォメーション(クロアチア国内からの無料通話番号)

インターネット

ザグレブには、20以上のWi-Fiスポットがあります(いわゆるホットスポット)。そこでは、無料で街のワイアレスインターネットのネットワークに接続することができます。Wi-Fiスポットの数は、常に増加しています。

ツーリストインフォメーション

ビジターセンター

Trg bana J. Jelačića 11

電話 : +385 1 48 14 051, +385 1 48 14 052, +385 1 48 14 054

メール : info@infozagreb.hr

ホームページ : www.infozagreb.hr

ビジターセンター

フラニョトウジュマン空港

Ulica Rudolfa Fizira 21, Velika Gorica

電話 : +385 1 6265 091

メール : airport@infozagreb.hr

ツーリストインフォメーションセンター

クラロトゥルシチャク

Strossmayerovo šetalište

電話 : +385 1 48 51 510

メール : lotrscak@infozagreb.hr

ツーリストインフォメーションセンター

ザグレブ中央電鉄駅

Trg kralja Tomislava 12

電話 : +385 99 2109 918

メール : gkolodvor@infozagreb.hr

中央バスツーリストインフォメーションセンター

スターミナル

Avenija Marina Držića 4

電話 : + 385 1 61 15 507, +385 1 61 15 508

メール : autobusnik@infozagreb.hr

インプリント

発行者

ザグレブ市観光局



発行責任者

Martina Bienenfeld, Ph.D.

デザイン、レイアウト、イラストレーション

Superstudio, Zagreb

テキスト作成者

Ivo Payer

Bojan Krištofić

ザグレブ市観光局

翻訳、校正、編集

Office TeNiTaMa

印刷所

ISBN 978-953-228-105-7

追記

発行者は全責任を持って、印刷するにあたり、出版物に掲載されている情報に誤りがなかったことを確認いたしました。しかし、編集作業が終わったあとに生じた変更については、その責任を負うことができません。

ザグレブ市観光局のメールアドレス
info@infozagreb.hr

写真

- Ana Markežić / Arhiva TZGZ
Antonio Bokšić / Arhiva TZGZ
Arhiva Aquae Vivae
Arhiva Backo Mini Express
Arhiva City Center One
Arhiva Hotel Esplanade Zagreb
Arhiva MHZ
Arhiva Nacionalni park Plitvička jezera
Arhiva Park prirode Medvednica
Arhiva Superstudio
Barbara Šarić / Arhiva Superstudio
Bojan Haron Markičević / Arhiva HTZ
Cod.8609, fol.17v. / Arhiva ÖNB/Wien
Dalibor Urukalović / PIXSELL
Davor Đopar / Arhiva TZ grada Samobora
Davor Puklavac / PIXSELL
Davor Rostuhar / Arhiva TZGZ
Domagoj Blažević / Arhiva HTZ
Domagoj Kunić / Arhiva TZGZ
Goran Jakuš / PIXSELL
Goran Stanzl / PIXSELL
Goran Vranić / Arhiva Hrvatski muzej naivne umjetnosti
Goran Vranić / Arhiva TZGZ
Grgur Žučko / PIXSELL
Hrvoje Brigljević / Arhiva TZGZ
Igor Kralj / PIXSELL
Ivo Biočina / Arhiva HTZ
Ivo Pervan / Arhiva TZGZ
Josip Grđan / Arhiva TZ grada Samobora
Julien Duval / Arhiva TZGZ
Jurica Galoić / PIXSELL
Katarina Gavrilića / Arhiva Dioralop
Luka Šangulin / Arhiva Pločnik
Marija Gašparović / Arhiva Design District Zagreb
Marija Gašparović / Arhiva TZGZ
Marko Jurinec / PIXSELL
Marko Lukunić / PIXSELL
Marko Prpić / PIXSELL
Marko Vrdoljak / Arhiva TZGZ
Matija Dronjić / Arhiva Etnografski muzej
Nina Đurđević / Arhiva Katapult promocija
Nina Đurđević / PIXSELL
Patrik Macek / PIXSELL
Petar Glebov / PIXSELL
Petar Trinajstić / Arhiva TZ grada Opatije
Roko Bahat / Arhiva Mali piknik
Sanjin Kaštelan / Arhiva TZGZ
Sanjin Strukić / PIXSELL
Sergio Gobbo / Arhiva HTZ
Srđan Vuković / Arhiva Muzej prekinutih veza
Stipe Surać / Arhiva HTZ
Studio Hrg / Arhiva Hrvatski skijaški savez
Tomislav Miletić / PIXSELL
Tomislav Šklopčan / Arhiva TZGZ
Vedran Metelko / Arhiva HTZ
Višnja Arambašić / Arhiva TZGZ
Željko Lukunić / PIXSELL